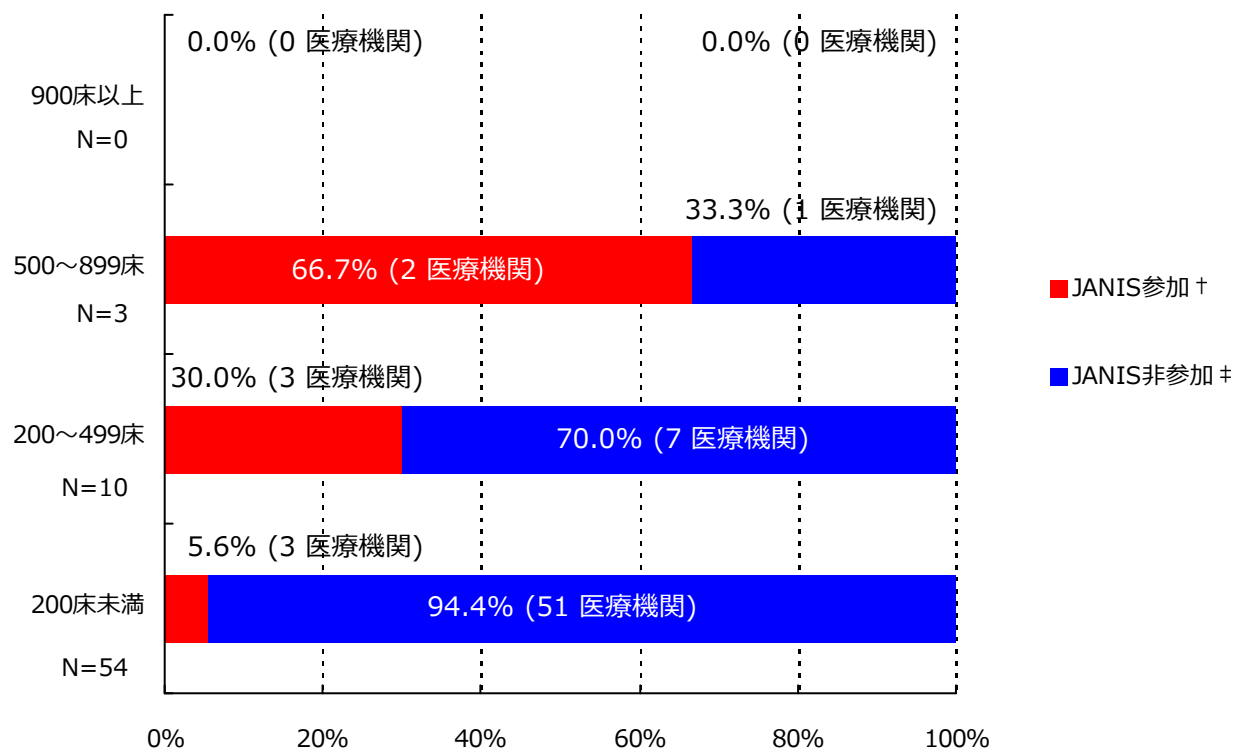


1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	3	2 (66.7%)
200～499床	10	3 (30%)
200床未満	54	3 (5.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	67	8 (11.9%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(福井県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	7	36,391	1	86	2.36%	0.40 1.80 7.11 -----
2021年	8	44,600	0	90	2.02%	0.00 1.92 8.97 -----
2022年	8	43,430	7	126	2.90%	0.00 2.16 11.61 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	7	36,391	0	9	0.25%	0.00 0.00 0.46 -----
2021年	8	44,600	0	5	0.11%	0.00 0.00 0.29 -----
2022年	8	43,430	0	6	0.14%	0.00 0.00 0.33 -----

(福井県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

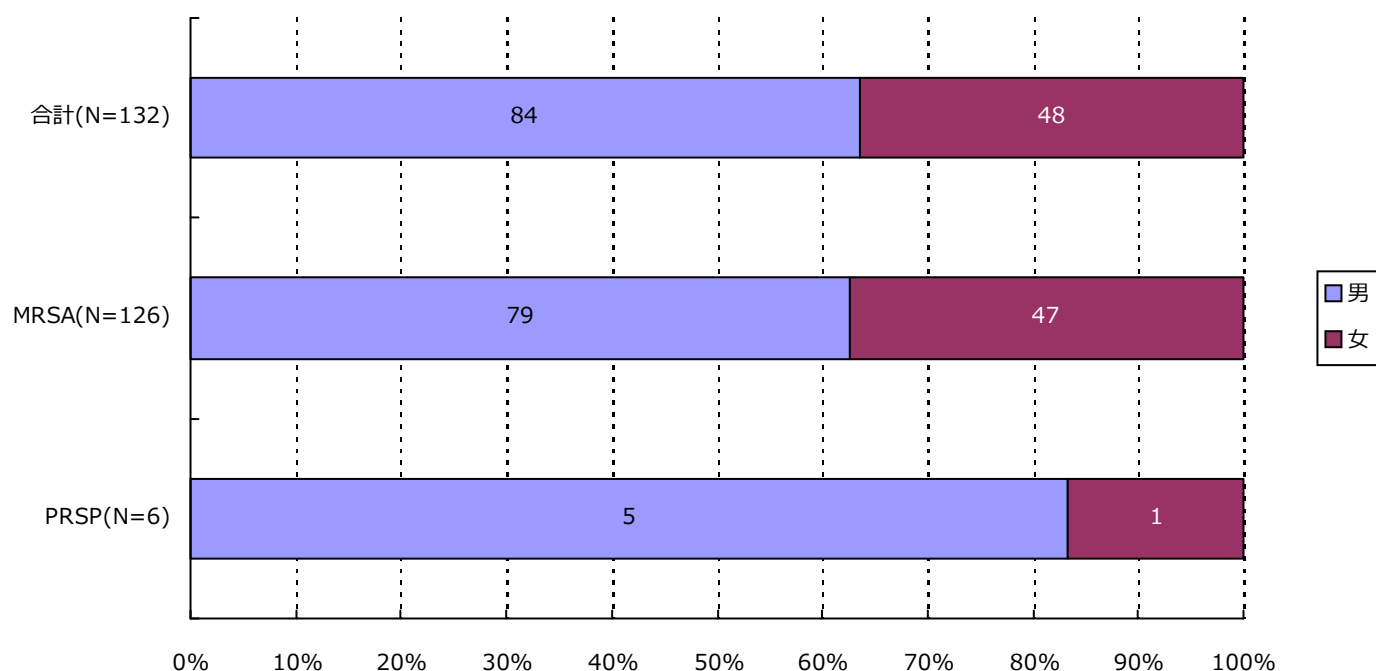
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

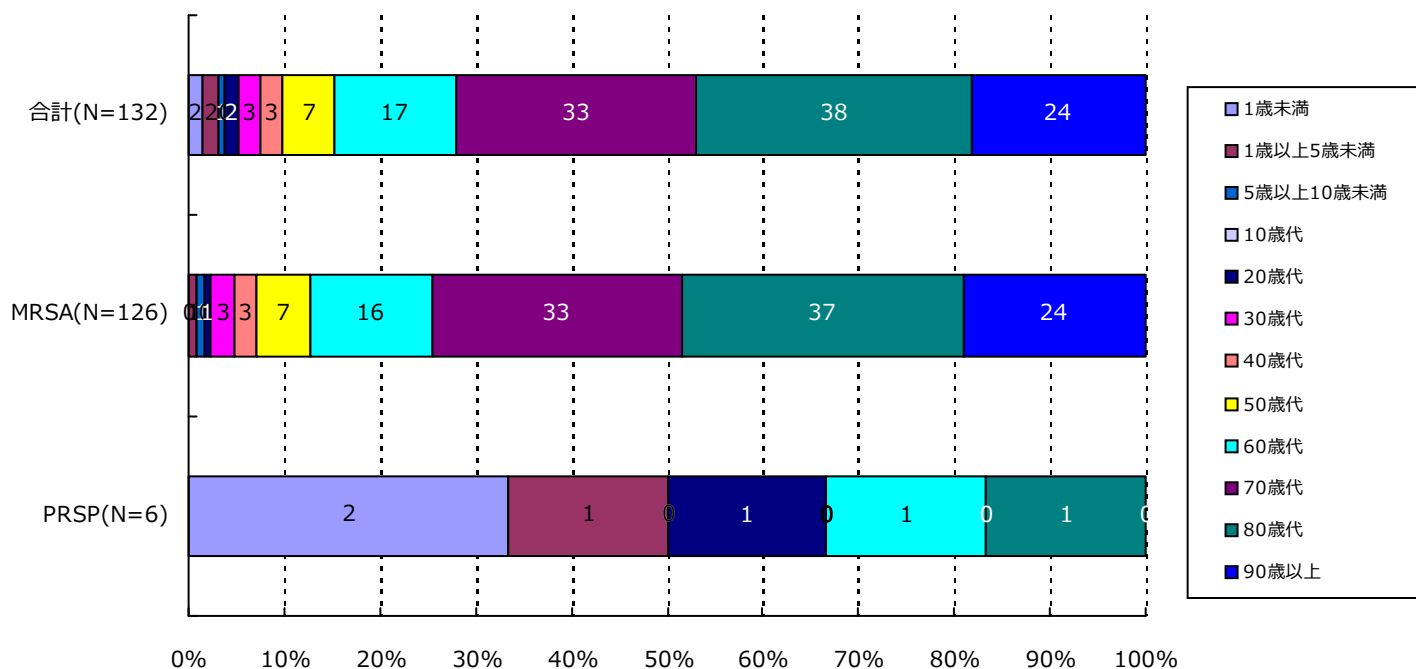
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



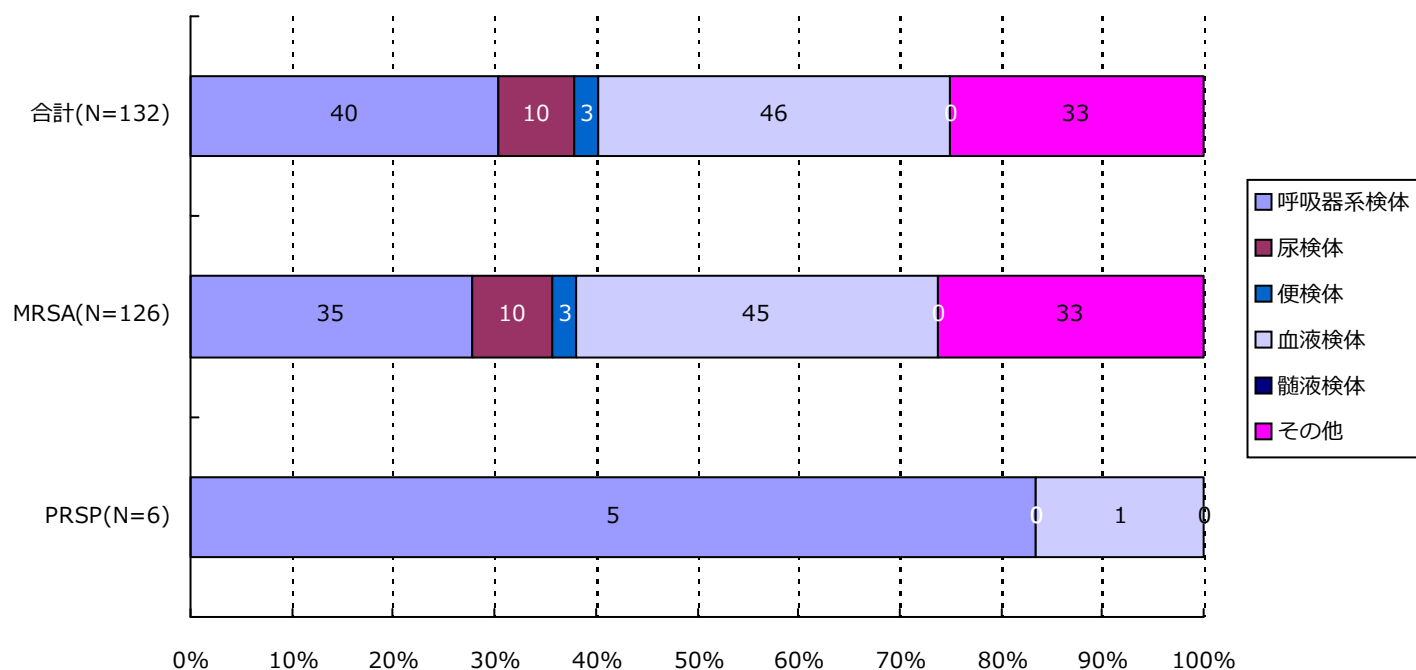
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	84 (63.6%)	79 (62.7%)	0 (-)	0 (-)	5 (83.3%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
女	48 (36.4%)	47 (37.3%)	0 (-)	0 (-)	1 (16.7%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	132	126	0	0	6	0	0	0

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.5%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(1.5%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	3(2.3%)	3(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	3(2.3%)	3(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	7(5.3%)	7(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	17(12.9%)	16(12.7%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	33(25.0%)	33(26.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	38(28.8%)	37(29.4%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	24(18.2%)	24(19.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	132	126	0	0	6	0	0	0

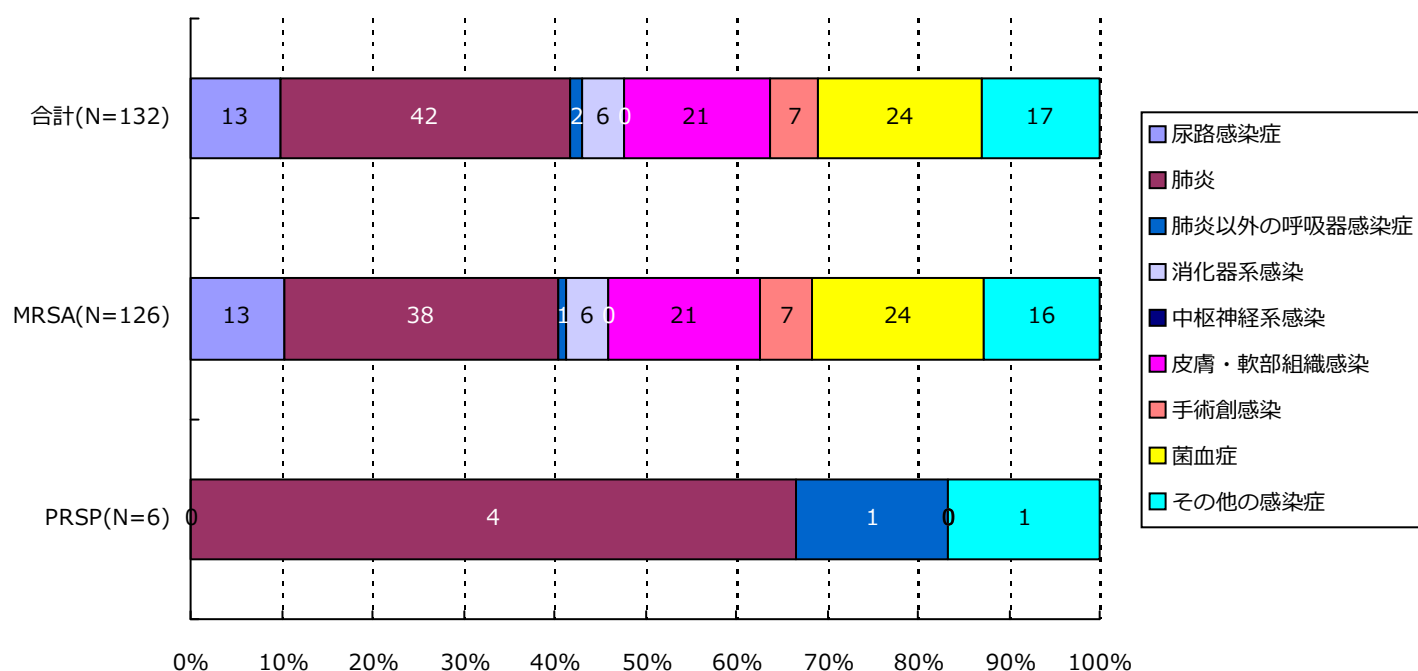
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	40(30.3%)	35(27.8%)	0(-)	0(-)	5(83.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	10(7.6%)	10(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	3(2.3%)	3(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	46(34.8%)	45(35.7%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	33(25.0%)	33(26.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	132	126	0	0	6	0	0	0

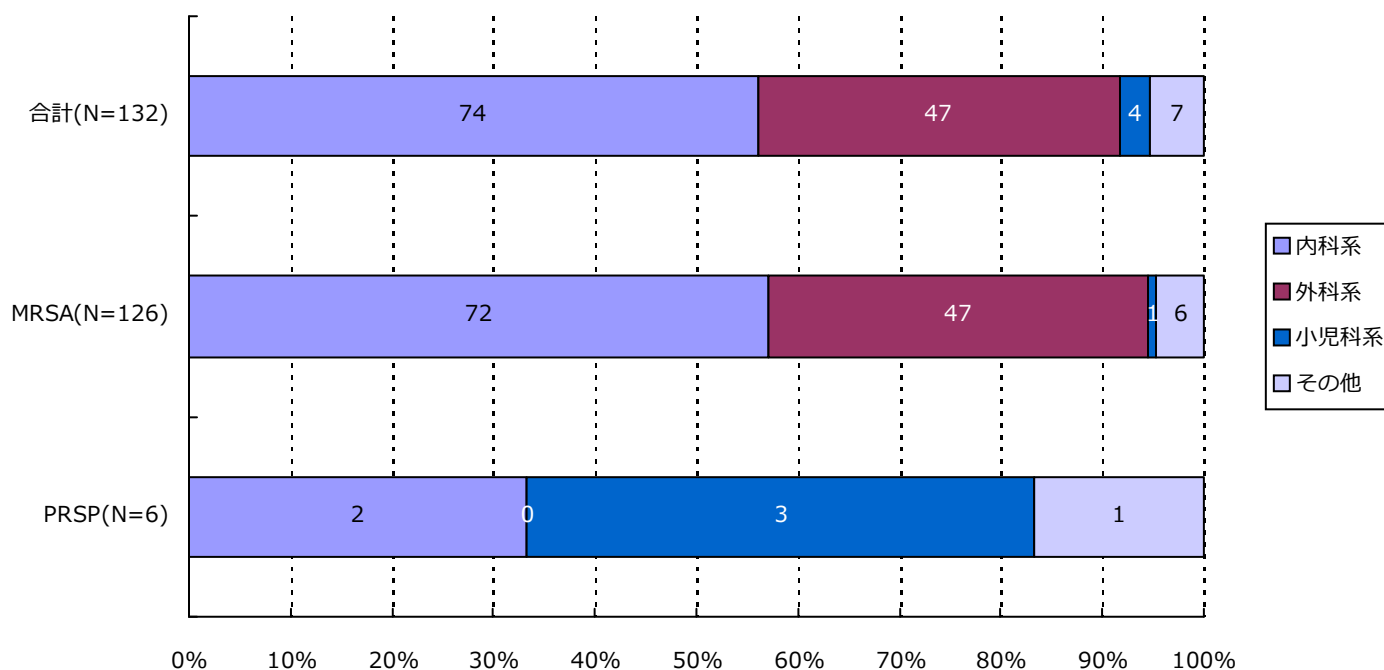
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	13(9.8%)	13(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	42(31.8%)	38(30.2%)	0(-)	0(-)	4(66.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	2(1.5%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	6(4.5%)	6(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	21(15.9%)	21(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	7(5.3%)	7(5.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	24(18.2%)	24(19.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	17(12.9%)	16(12.7%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	132	126	0	0	6	0	0	0

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	74(56.1%)	72(57.1%)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	47(35.6%)	47(37.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	4(3.0%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	7(5.3%)	6(4.8%)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	132	126	0	0	6	0	0	0

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

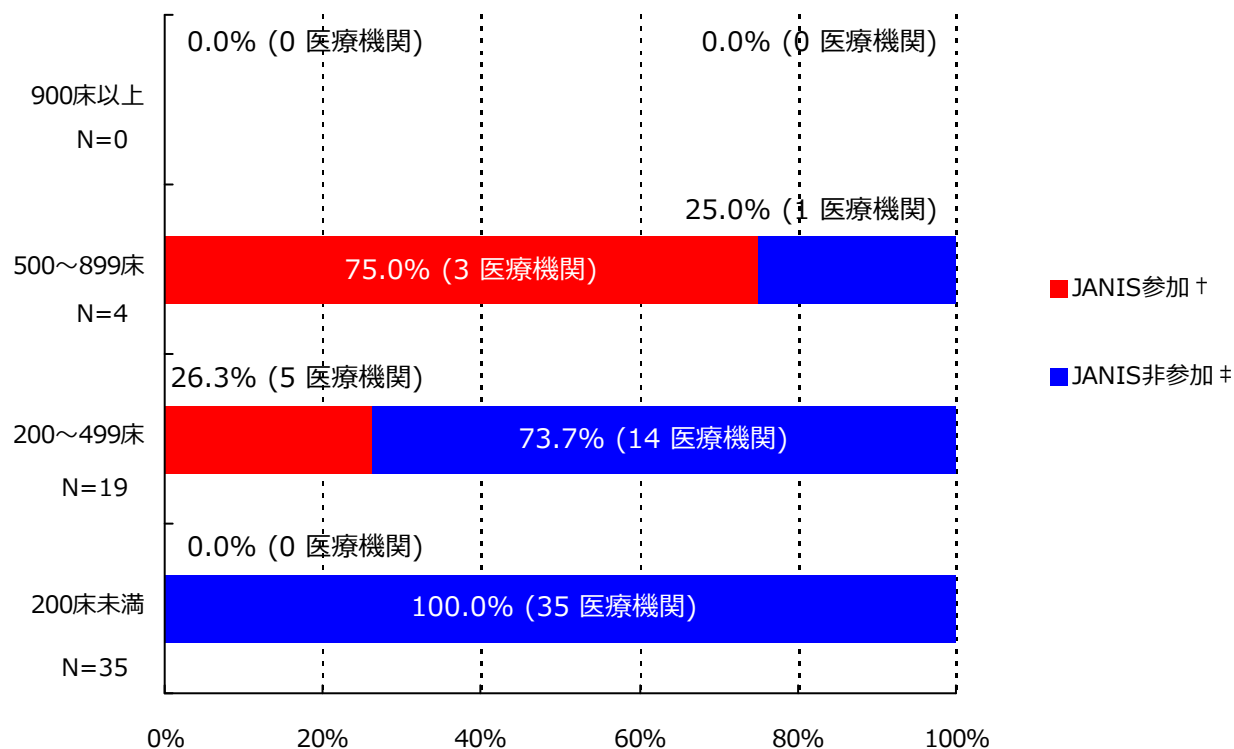
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	19	5 (26.3%)
200床未満	35	0 (0%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	58	8 (13.8%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(滋賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	69,197	4	174	2.51%	0.74 3.33 7.62 -----
2021年	9	71,505	6	173	2.42%	0.45 3.05 11.51 -----
2022年	8	69,062	2	165	2.39%	0.62 2.05 10.99 -----

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	69,197	0	10	0.14%	0.00 0.00 1.17 -----
2021年	9	71,505	0	10	0.14%	0.00 0.00 1.13 -----
2022年	8	69,062	0	12	0.17%	0.00 0.00 1.30 -----

(滋賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

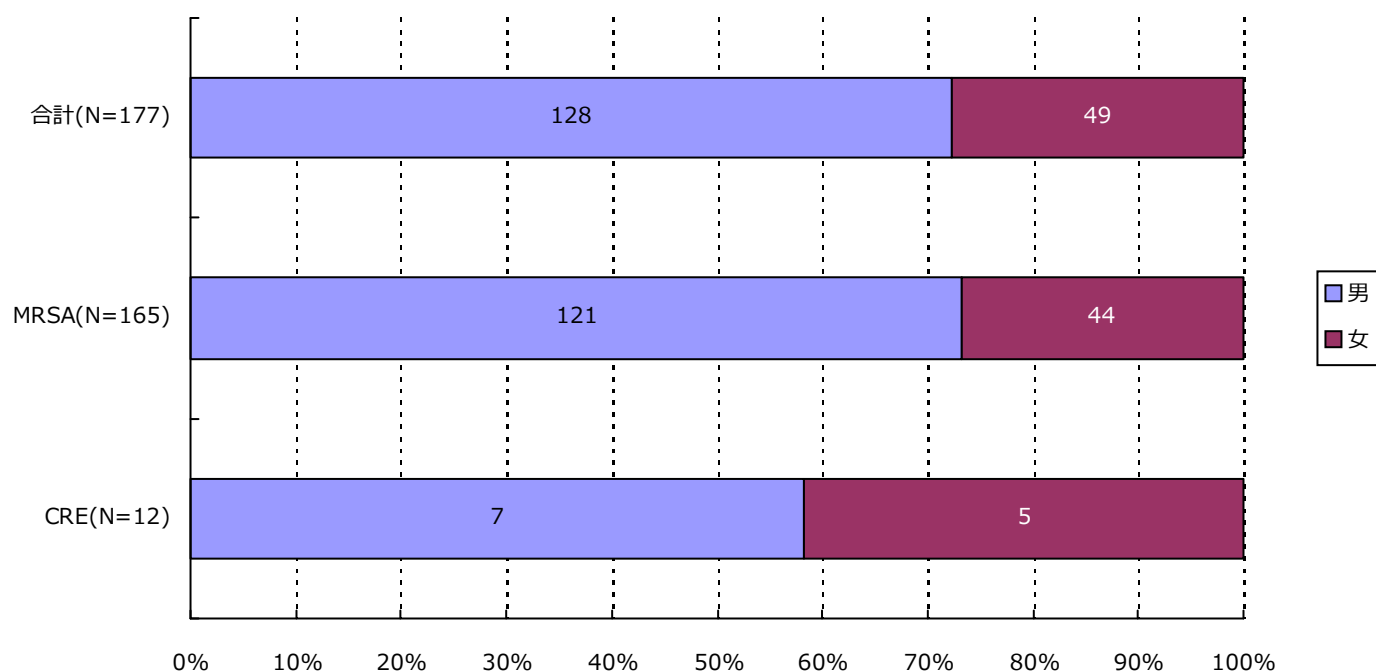
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	128(72.3%)	121(73.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(58.3%)
女	49(27.7%)	44(26.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(41.7%)
合計	177	165	0	0	0	0	0	12

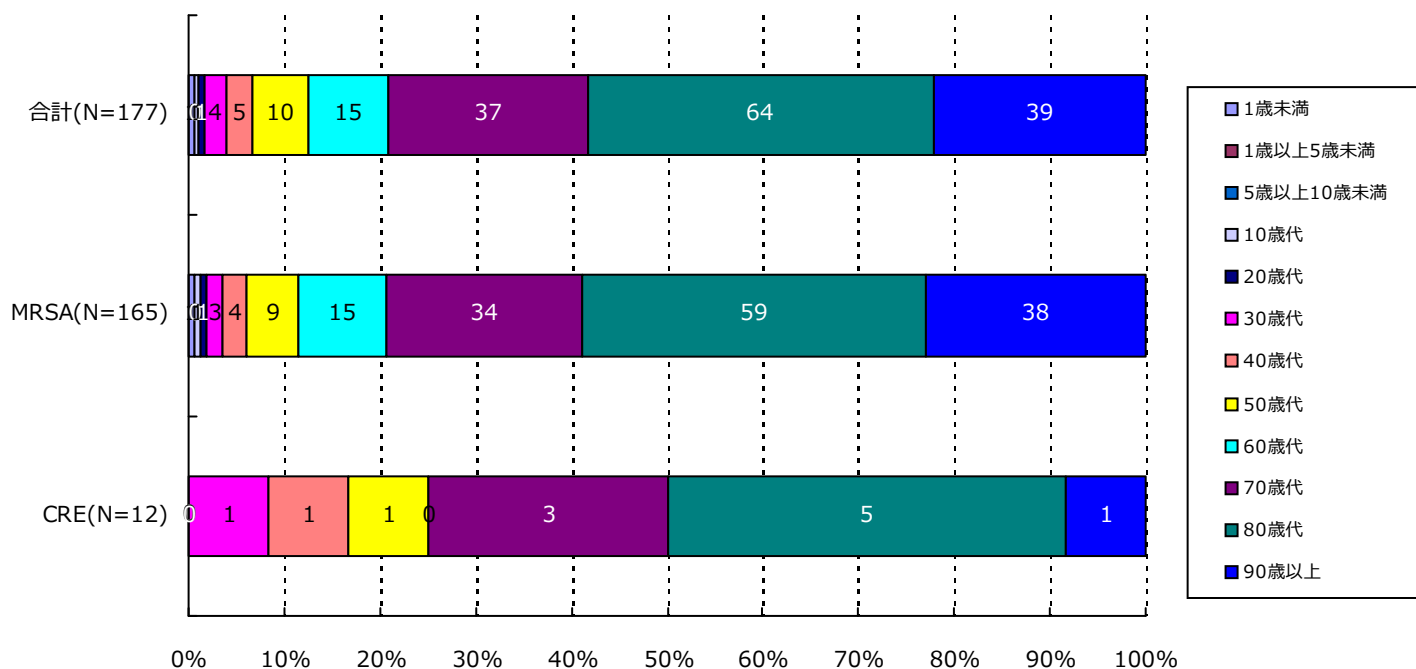
(滋賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

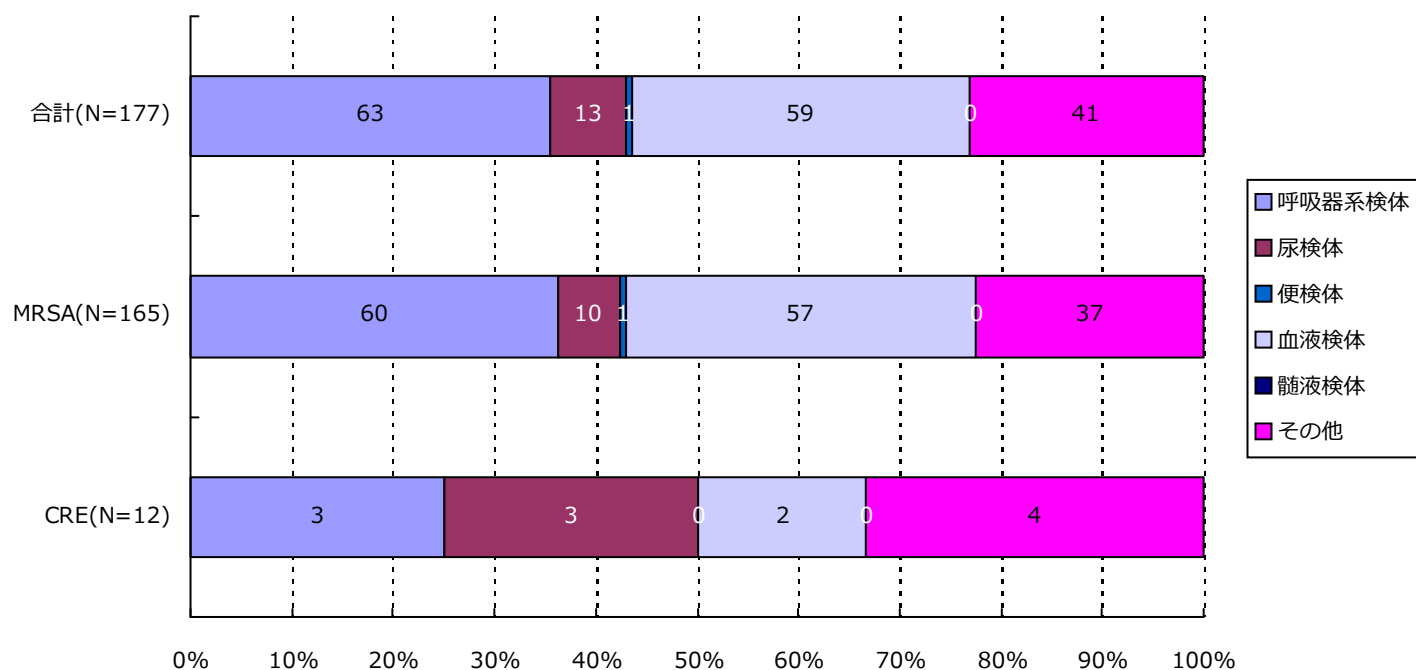


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(2.3%)	3(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
40歳代	5(2.8%)	4(2.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
50歳代	10(5.6%)	9(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
60歳代	15(8.5%)	15(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	37(20.9%)	34(20.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
80歳代	64(36.2%)	59(35.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(41.7%)
90歳以上	39(22.0%)	38(23.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
合計	177	165	0	0	0	0	0	12

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	63(35.6%)	60(36.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
尿検体	13(7.3%)	10(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
便検体	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	59(33.3%)	57(34.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	41(23.2%)	37(22.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(33.3%)
合計	177	165	0	0	0	0	0	12

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

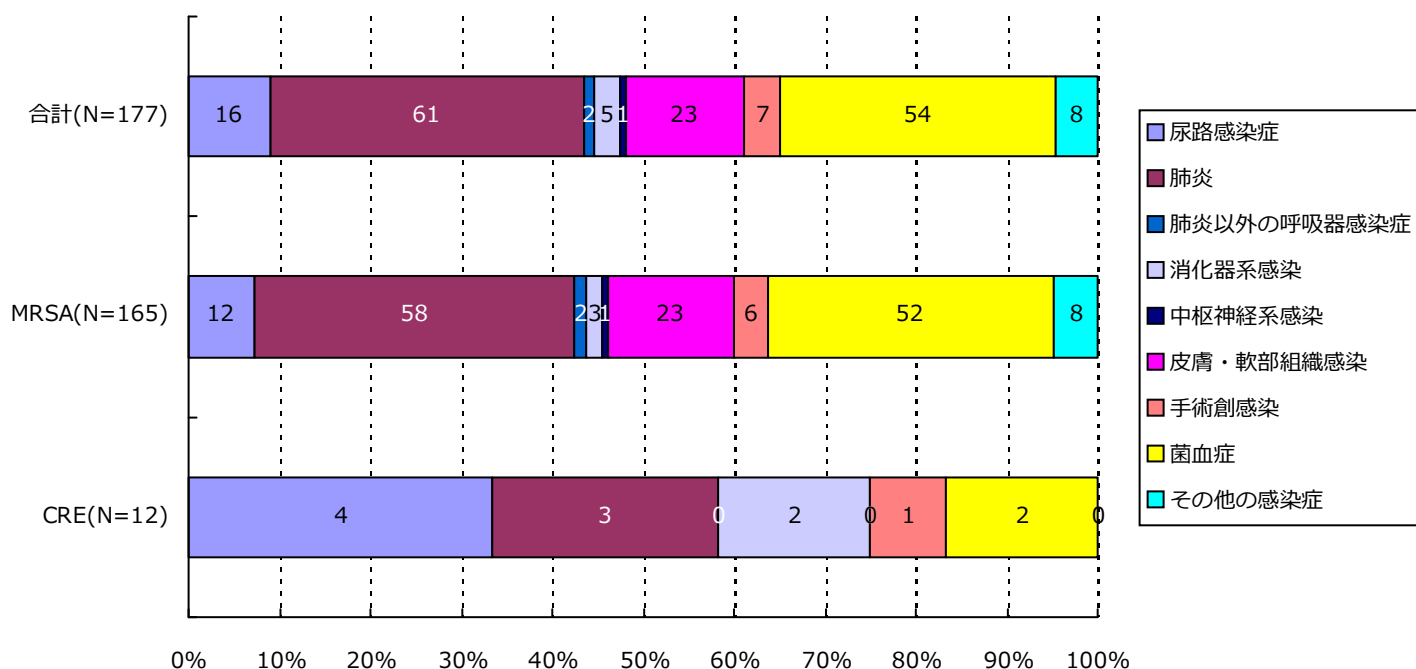
(滋賀県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

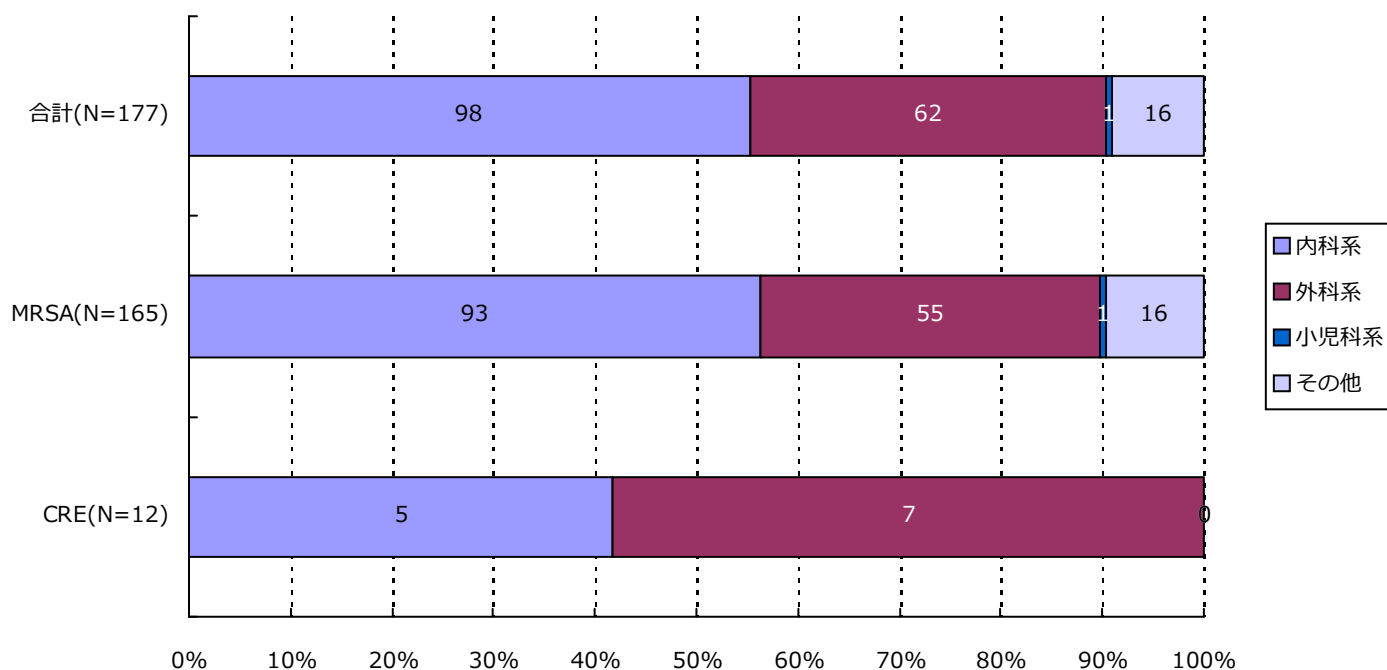


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(9.0%)	12(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	4(33.3%)
肺炎	61(34.5%)	58(35.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
肺炎以外	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.8%)	3(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
中枢神経系	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	23(13.0%)	23(13.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	7(4.0%)	6(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
菌血症	54(30.5%)	52(31.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
その他	8(4.5%)	8(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	177	165	0	0	0	0	0	12

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	98(55.4%)	93(56.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(41.7%)
外科系	62(35.0%)	55(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	7(58.3%)
小児科系	1(0.6%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	16(9.0%)	16(9.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	177	165	0	0	0	0	0	12

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

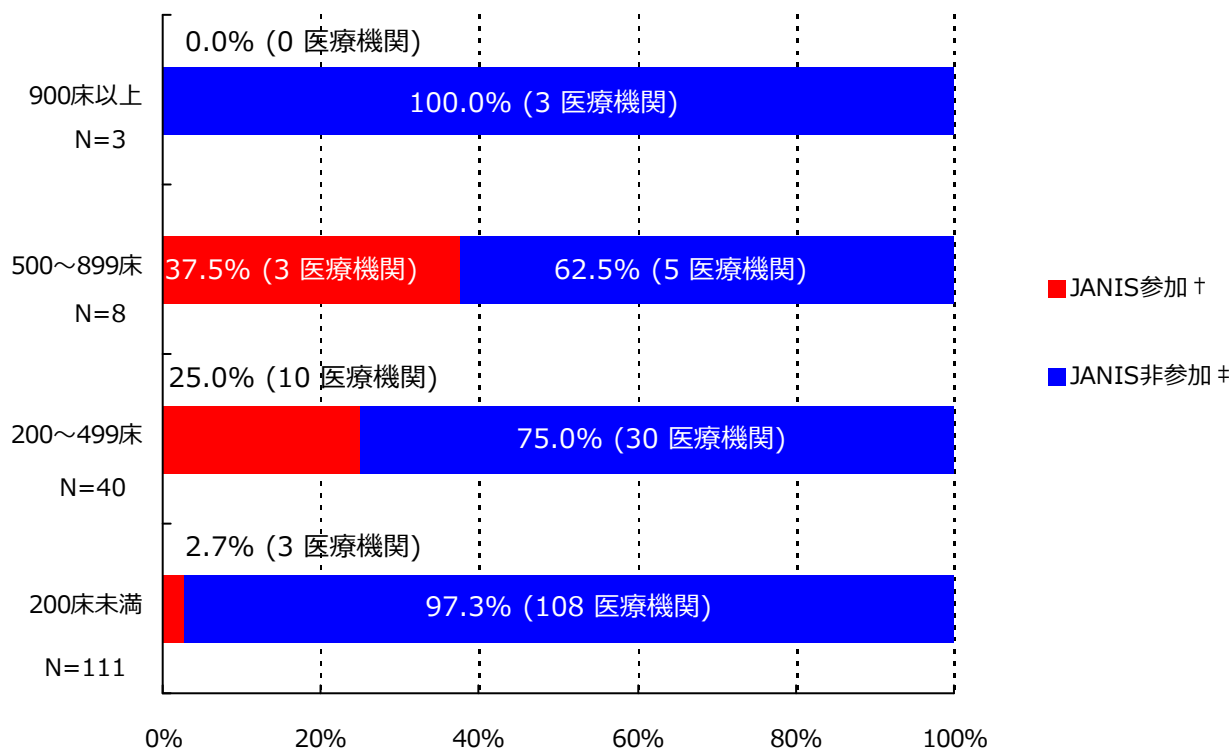
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(16医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	3	0 (0%)
500～899床	8	3 (37.5%)
200～499床	40	10 (25%)
200床未満	111	3 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	162	16 (9.9%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(京都府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	16	99,650	7	270	2.71%	0.34 2.86 13.60 -----
2021年	16	102,479	7	283	2.76%	0.00 2.15 15.08 -----
2022年	16	101,431	5	324	3.19%	0.49 2.86 15.58 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	16	101,431	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.23 -----

(京都府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	16	101,431	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.17

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	16	99,650	0	6	0.06%	0.00 0.00 0.33
2021年	16	102,479	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.24
2022年	16	101,431	0	13	0.13%	0.00 0.00 0.95

(京都府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

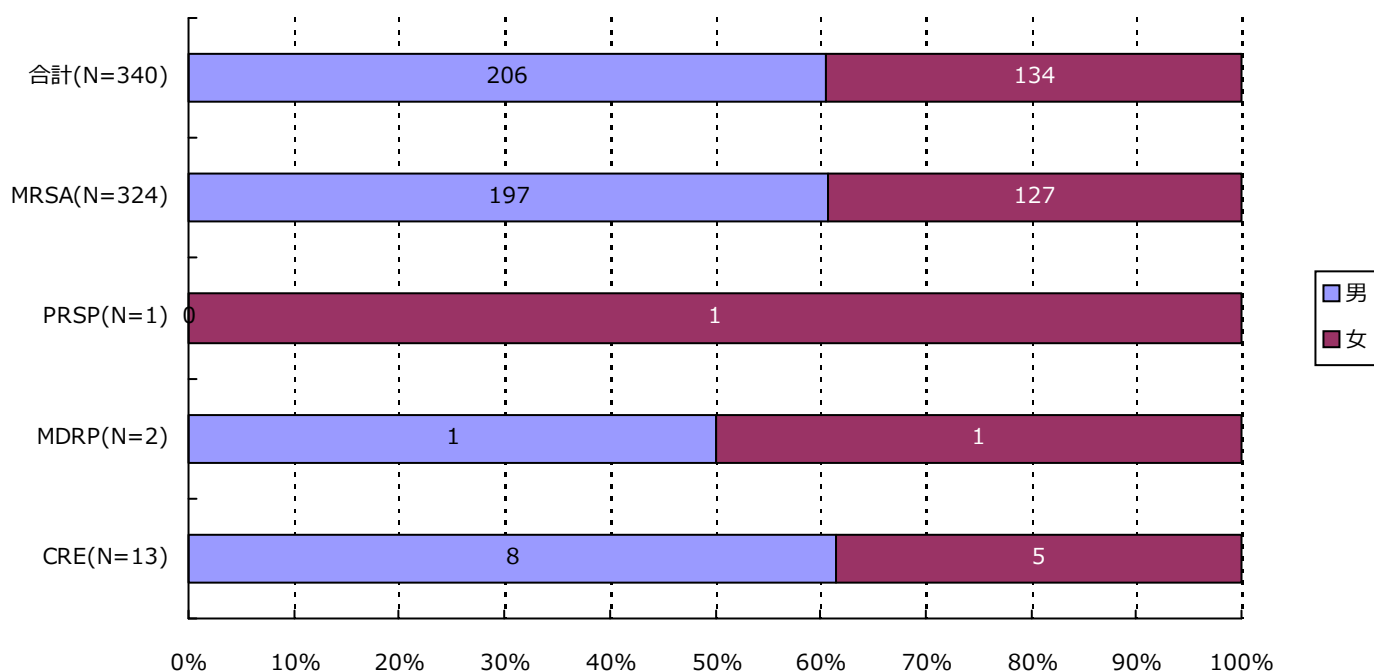
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	206 (60.6%)	197 (60.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50.0%)	0 (-)	8 (61.5%)
女	134 (39.4%)	127 (39.2%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (-)	5 (38.5%)
合計	340	324	0	0	1	2	0	13

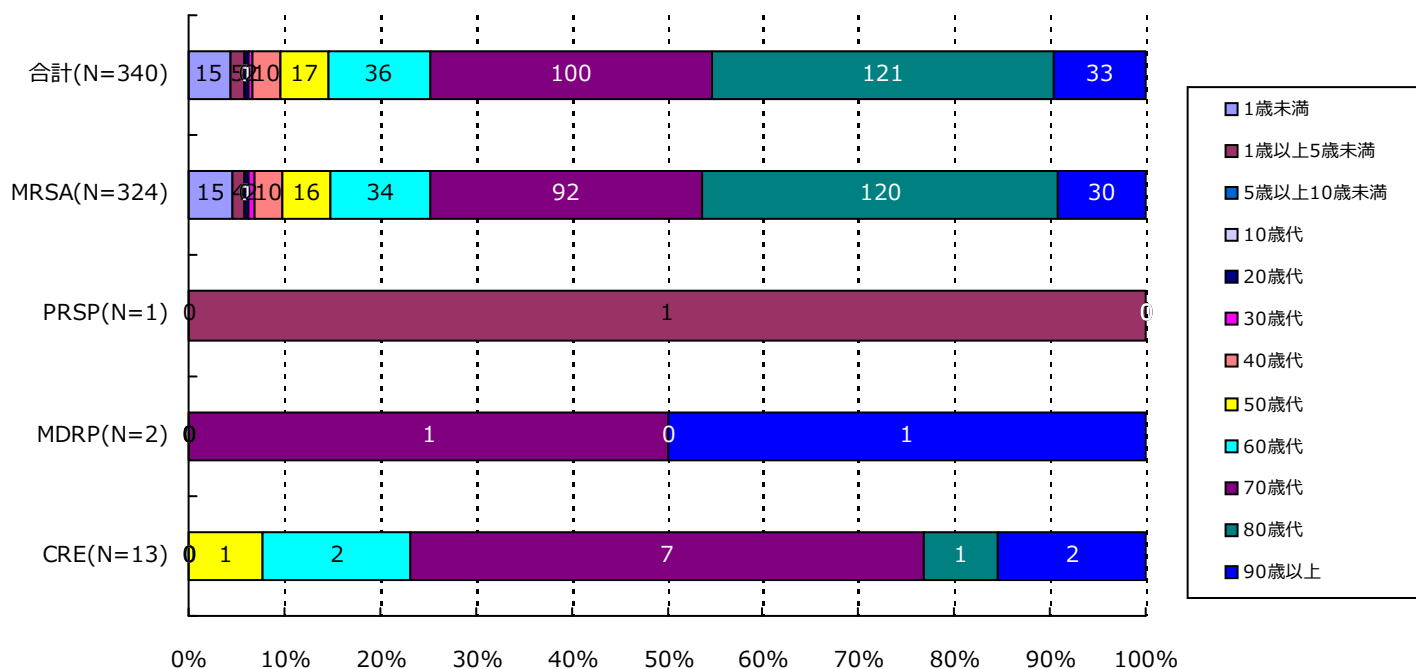
(京都府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

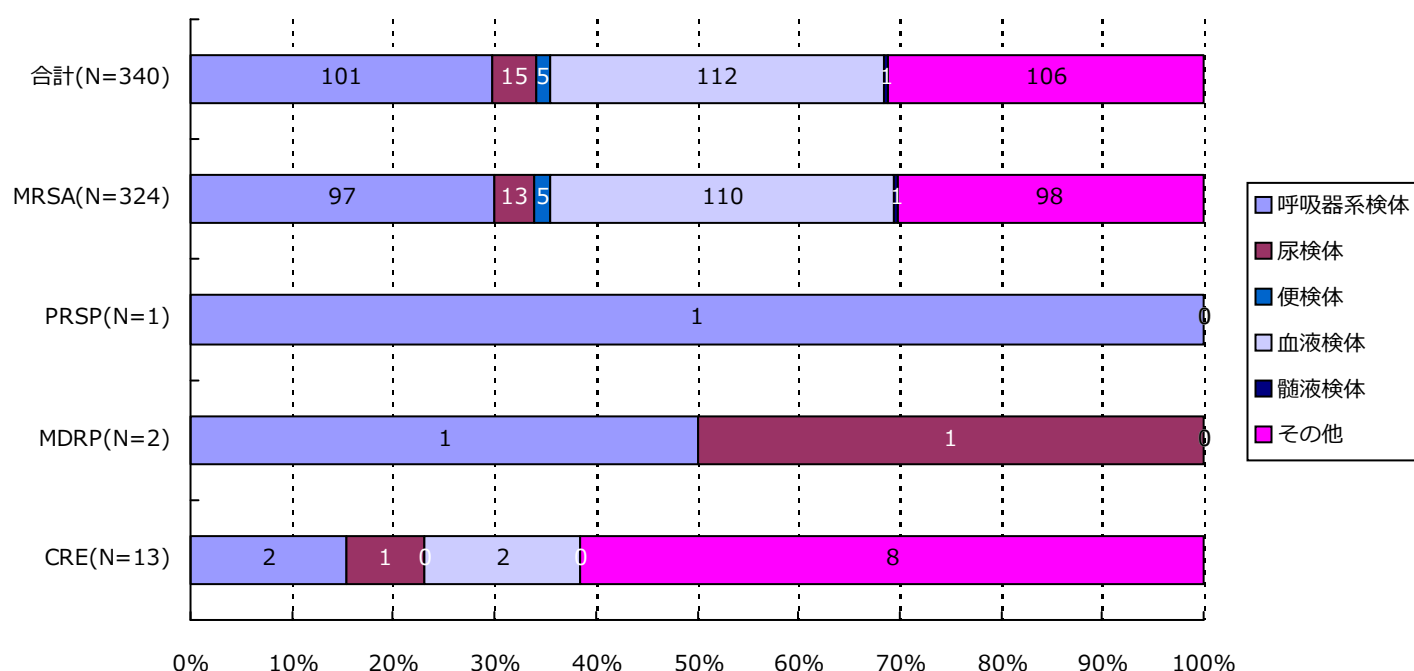


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	15(4.4%)	15(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	5(1.5%)	4(1.2%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.6%)	2(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	10(2.9%)	10(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	17(5.0%)	16(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
60歳代	36(10.6%)	34(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
70歳代	100(29.4%)	92(28.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	7(53.8%)
80歳代	121(35.6%)	120(37.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
90歳以上	33(9.7%)	30(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	2(15.4%)
合計	340	324	0	0	1	2	0	13

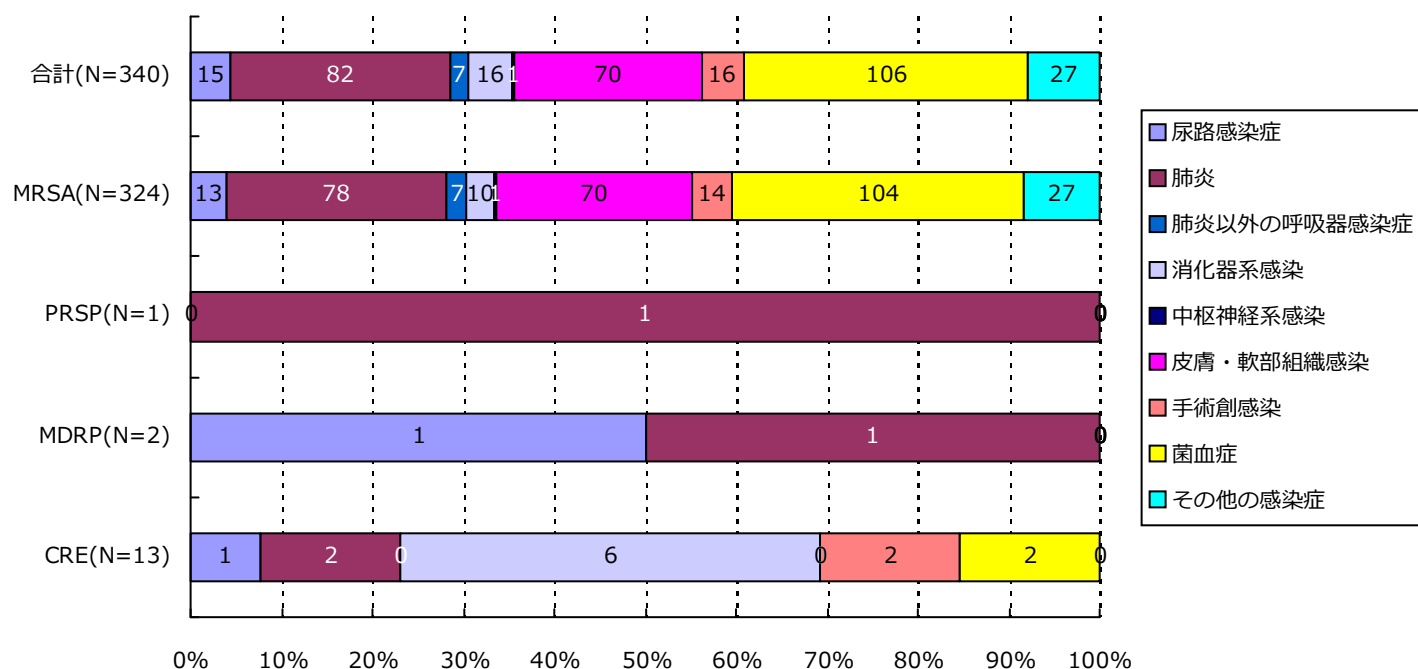
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	101(29.7%)	97(29.9%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	2(15.4%)
尿検体	15(4.4%)	13(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(7.7%)
便検体	5(1.5%)	5(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	112(32.9%)	110(34.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
髄液検体	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	106(31.2%)	98(30.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(61.5%)
合計	340	324	0	0	1	2	0	13

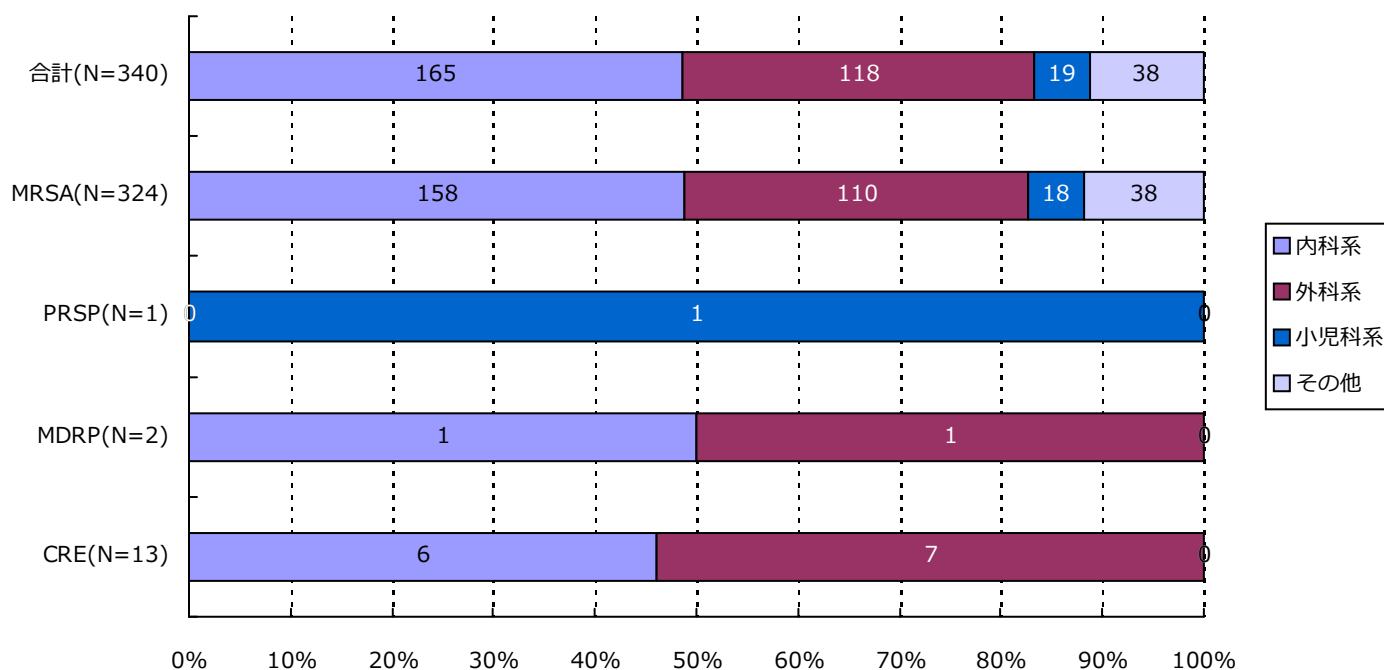
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	15(4.4%)	13(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(7.7%)
肺炎	82(24.1%)	78(24.1%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	1(50.0%)	0(-)	2(15.4%)
肺炎以外	7(2.1%)	7(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	16(4.7%)	10(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(46.2%)
中枢神経系	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	70(20.6%)	70(21.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	16(4.7%)	14(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
菌血症	106(31.2%)	104(32.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(15.4%)
その他	27(7.9%)	27(8.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	340	324	0	0	1	2	0	13

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	165(48.5%)	158(48.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	6(46.2%)
外科系	118(34.7%)	110(34.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	7(53.8%)
小児科系	19(5.6%)	18(5.6%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	38(11.2%)	38(11.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	340	324	0	0	1	2	0	13

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

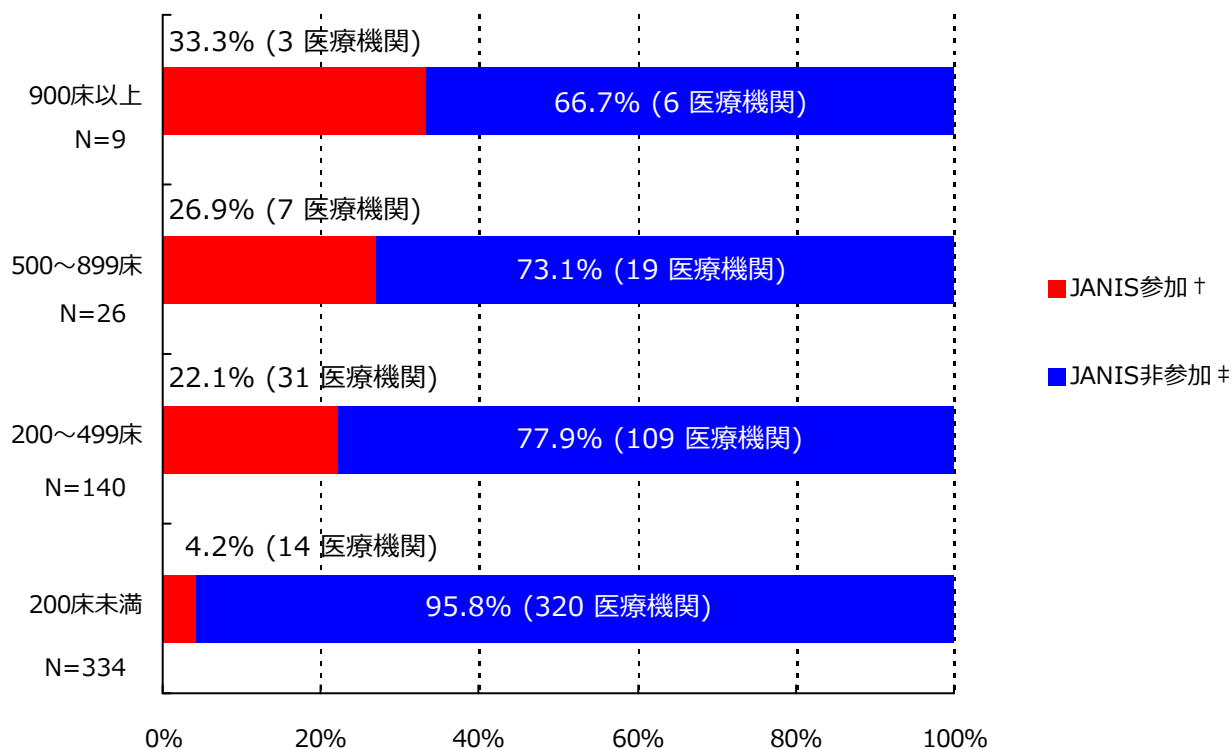
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(55医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

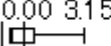
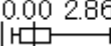
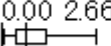
‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	9	3 (33.3%)
500～899床	26	7 (26.9%)
200～499床	140	31 (22.1%)
200床未満	334	14 (4.2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	509	55 (10.8%)

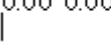
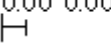
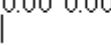
¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	58	408,823	26	1,212	2.96%	0.00 3.15 50.56 
2021年	55	396,226	10	1,109	2.80%	0.00 2.86 31.50 
2022年	55	369,764	11	1,038	2.81%	0.00 2.66 37.23 

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	58	408,823	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.12 
2021年	55	396,226	0	11	0.03%	0.00 0.00 0.73 
2022年	55	369,764	0	5	0.01%	0.00 0.00 0.54 

2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	58	408,823	1	21	0.05%	0.00 0.00 5.62
2021年	55	396,226	0	8	0.02%	0.00 0.00 0.44
2022年	55	369,764	0	15	0.04%	0.00 0.00 0.72

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	58	408,823	0	8	0.02%	0.00 0.00 0.43
2021年	55	396,226	1	4	0.01%	0.00 0.00 0.13
2022年	55	369,764	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.13

(大阪府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	58	408,823	0	34	0.08%	0.00 0.00 5.62 H
2021年	55	396,226	0	27	0.07%	0.00 0.00 10.58 H
2022年	55	369,764	0	40	0.11%	0.00 0.00 0.51 H

(大阪府)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

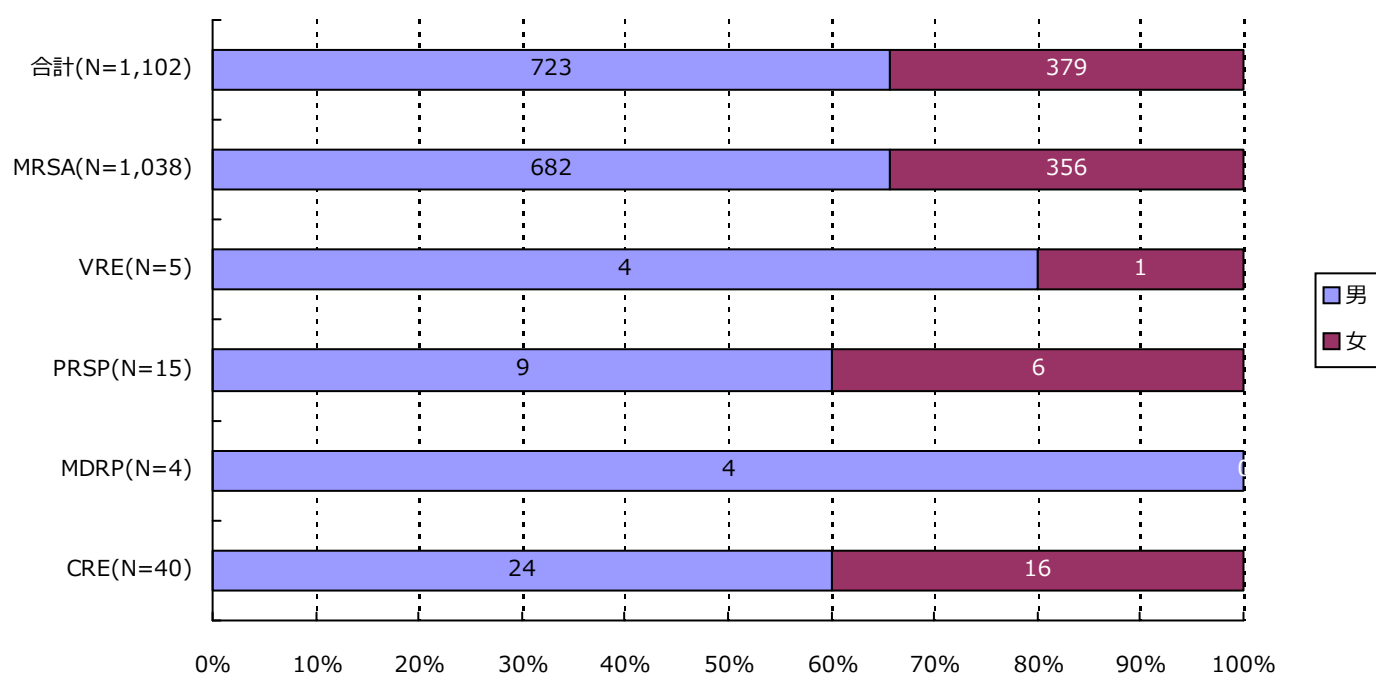
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

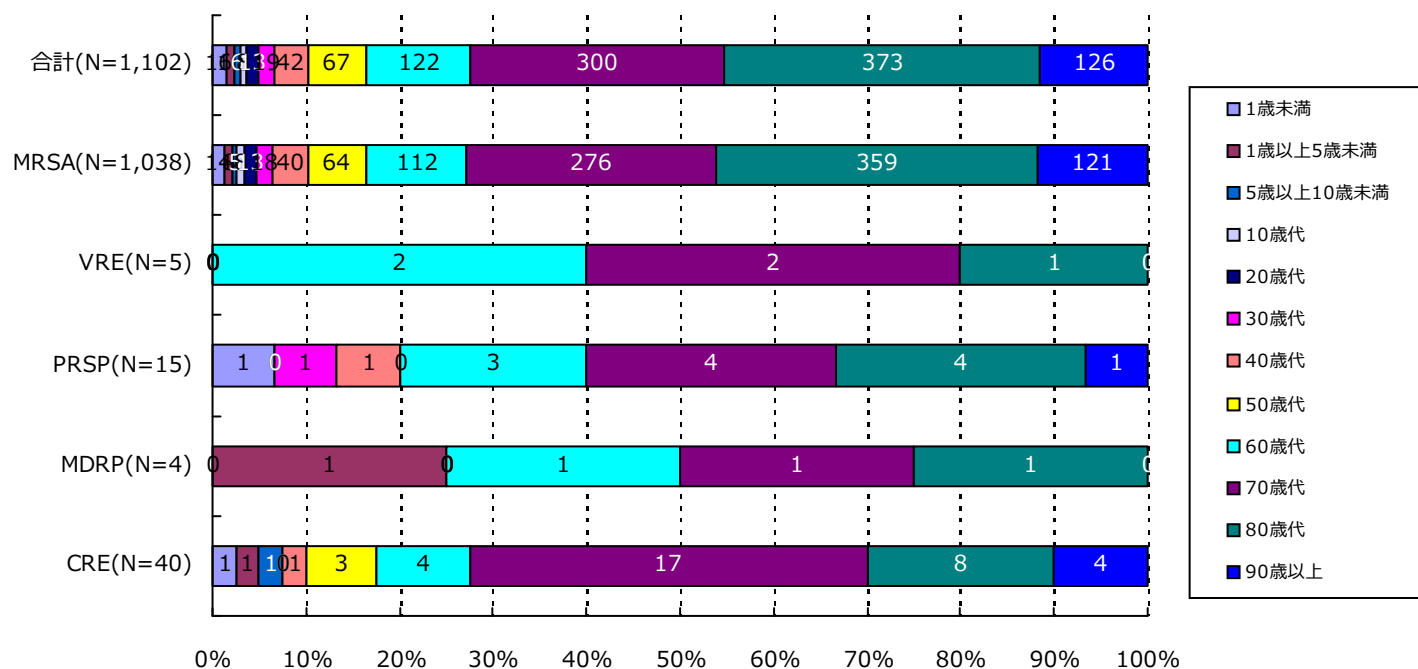
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



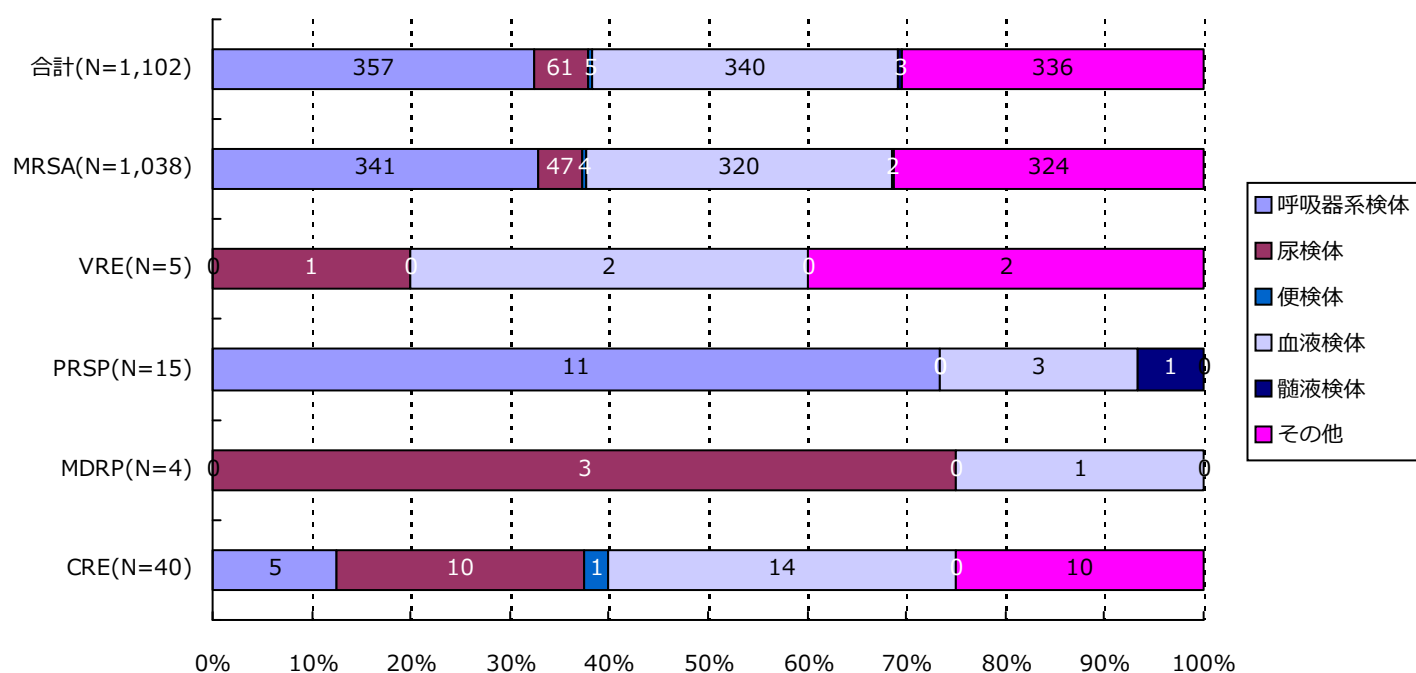
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	723 (65.6%)	682 (65.7%)	0 (-)	4 (80.0%)	9 (60.0%)	4 (100.0%)	0 (-)	24 (60.0%)
女	379 (34.4%)	356 (34.3%)	0 (-)	1 (20.0%)	6 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	16 (40.0%)
合計	1,102	1,038	0	5	15	4	0	40

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	16(1.5%)	14(1.3%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
1歳以上5歳未満	10(0.9%)	8(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	1(2.5%)
5歳以上10歳未満	6(0.5%)	5(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
10歳代	8(0.7%)	8(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	13(1.2%)	13(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	19(1.7%)	18(1.7%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	42(3.8%)	40(3.9%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
50歳代	67(6.1%)	64(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(7.5%)
60歳代	122(11.1%)	112(10.8%)	0(-)	2(40.0%)	3(20.0%)	1(25.0%)	0(-)	4(10.0%)
70歳代	300(27.2%)	276(26.6%)	0(-)	2(40.0%)	4(26.7%)	1(25.0%)	0(-)	17(42.5%)
80歳代	373(33.8%)	359(34.6%)	0(-)	1(20.0%)	4(26.7%)	1(25.0%)	0(-)	8(20.0%)
90歳以上	126(11.4%)	121(11.7%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	4(10.0%)
合計	1,102	1,038	0	5	15	4	0	40

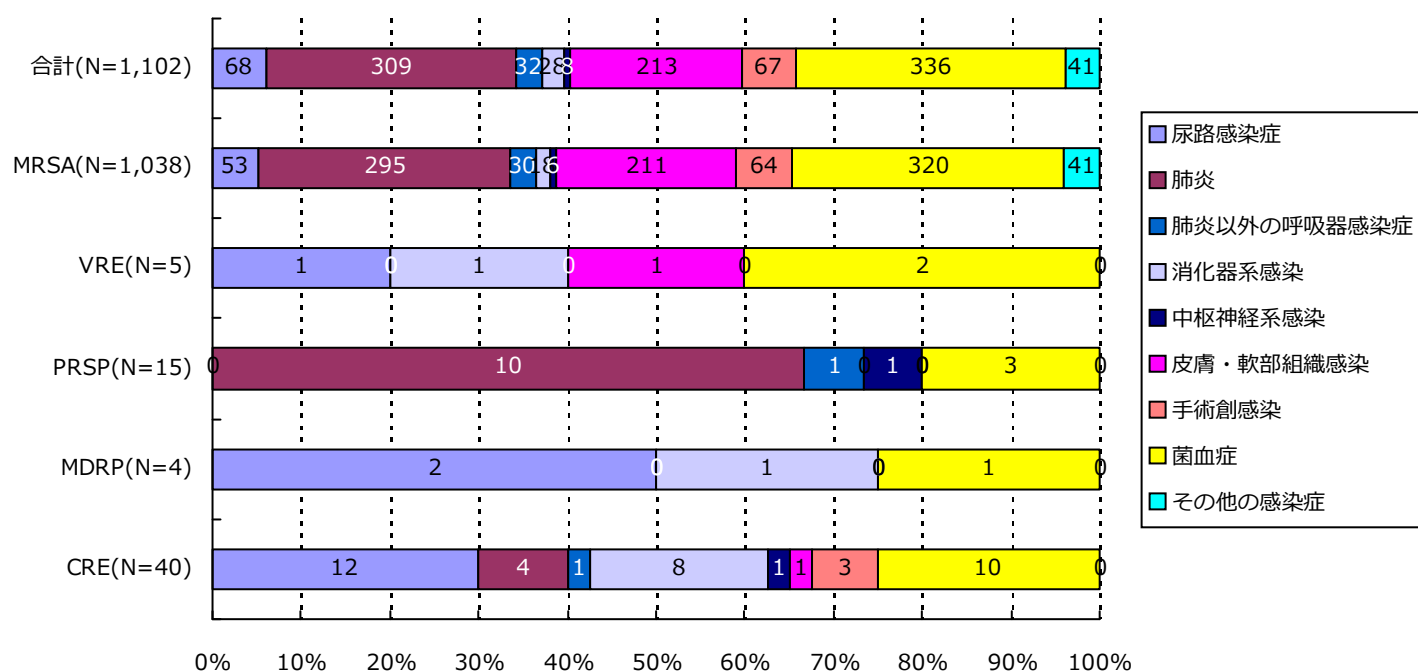
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	357(32.4%)	341(32.9%)	0(-)	0(-)	11(73.3%)	0(-)	0(-)	5(12.5%)
尿検体	61(5.5%)	47(4.5%)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	3(75.0%)	0(-)	10(25.0%)
便検体	5(0.5%)	4(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
血液検体	340(30.9%)	320(30.8%)	0(-)	2(40.0%)	3(20.0%)	1(25.0%)	0(-)	14(35.0%)
髄液検体	3(0.3%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	336(30.5%)	324(31.2%)	0(-)	2(40.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	10(25.0%)
合計	1,102	1,038	0	5	15	4	0	40

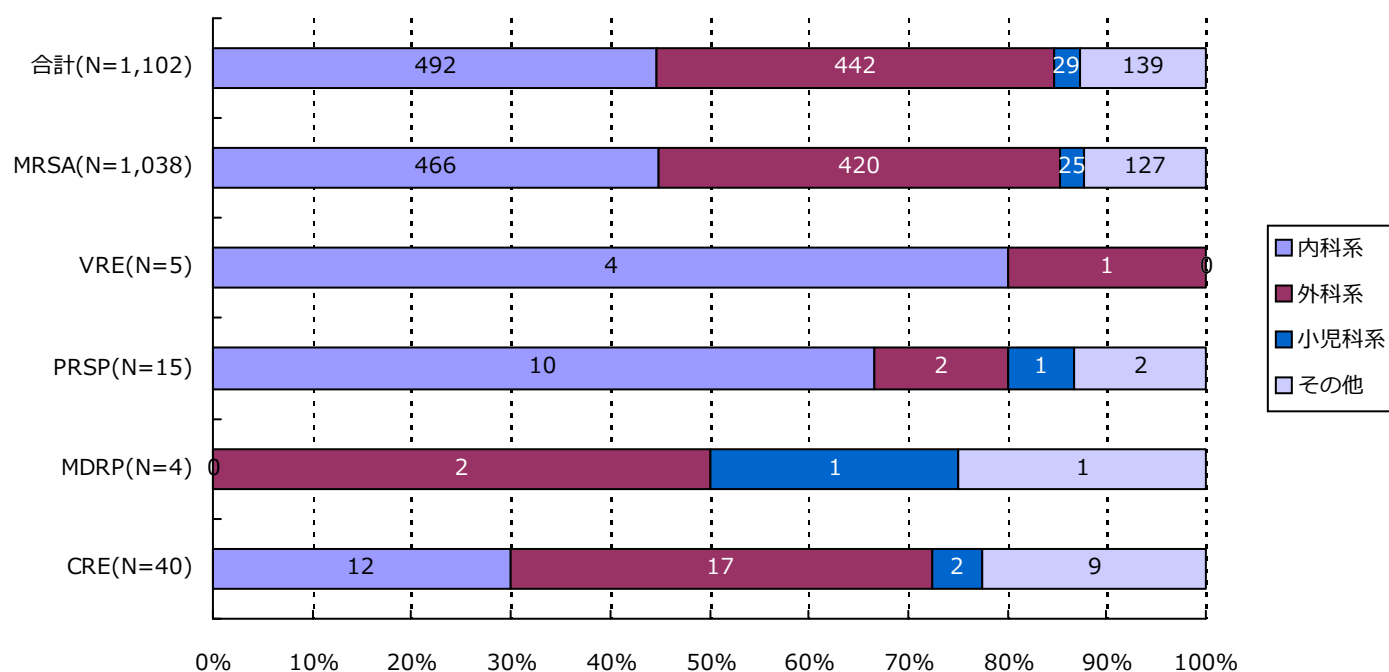
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	68(6.2%)	53(5.1%)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	12(30.0%)
肺炎	309(28.0%)	295(28.4%)	0(-)	0(-)	10(66.7%)	0(-)	0(-)	4(10.0%)
肺炎以外	32(2.9%)	30(2.9%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
消化器系	28(2.5%)	18(1.7%)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	8(20.0%)
中枢神経系	8(0.7%)	6(0.6%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
皮膚・軟部	213(19.3%)	211(20.3%)	0(-)	1(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.5%)
手術創	67(6.1%)	64(6.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(7.5%)
菌血症	336(30.5%)	320(30.8%)	0(-)	2(40.0%)	3(20.0%)	1(25.0%)	0(-)	10(25.0%)
その他	41(3.7%)	41(3.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,102	1,038	0	5	15	4	0	40

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	492(44.6%)	466(44.9%)	0(-)	4(80.0%)	10(66.7%)	0(-)	0(-)	12(30.0%)
外科系	442(40.1%)	420(40.5%)	0(-)	1(20.0%)	2(13.3%)	2(50.0%)	0(-)	17(42.5%)
小児科系	29(2.6%)	25(2.4%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	1(25.0%)	0(-)	2(5.0%)
その他	139(12.6%)	127(12.2%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	1(25.0%)	0(-)	9(22.5%)
合計	1,102	1,038	0	5	15	4	0	40

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm†かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

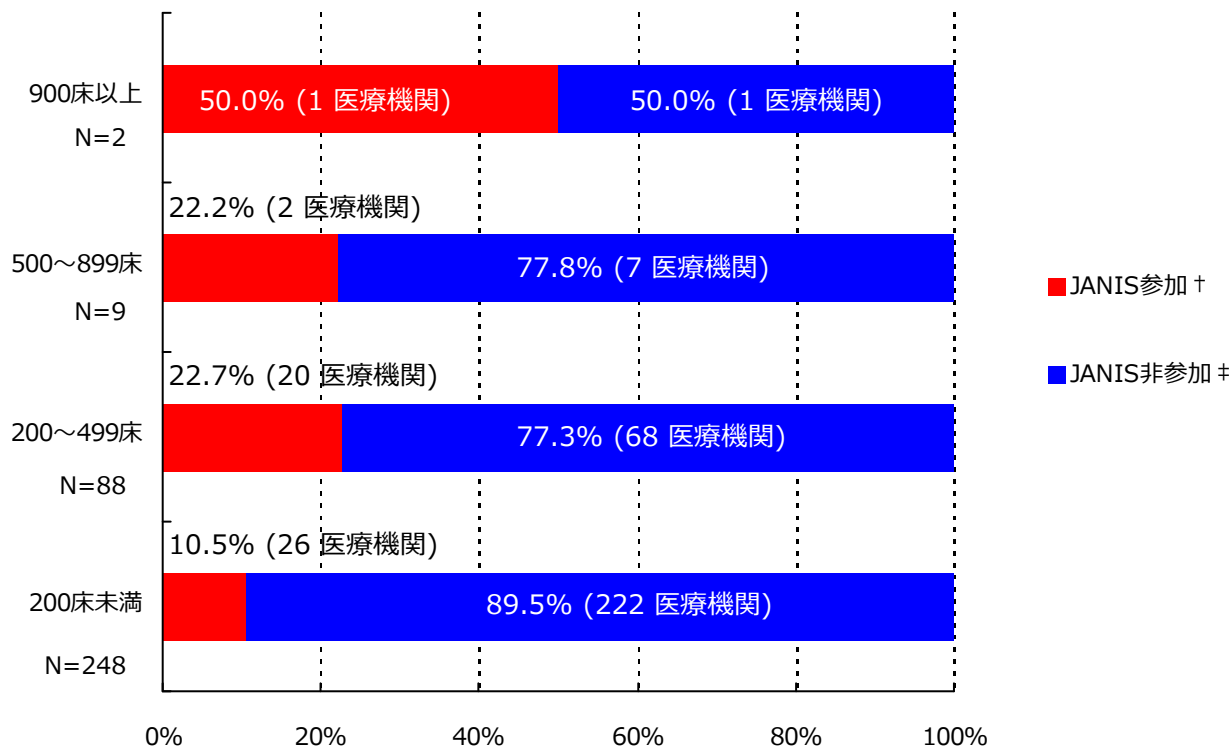
(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(49医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	9	2 (22.2%)
200～499床	88	20 (22.7%)
200床未満	248	26 (10.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	347	49 (14.1%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	51	246,751	5	826	3.35%	0.00 2.91 22.21 -----
2021年	49	231,997	10	766	3.30%	0.00 2.65 19.53 -----
2022年	49	227,608	3	695	3.05%	0.00 2.59 11.41 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	51	246,751	0	11	0.04%	0.00 0.00 1.11 -----
2021年	49	231,997	0	8	0.03%	0.00 0.00 0.28 -----
2022年	49	227,608	0	10	0.04%	0.00 0.00 1.31 -----

(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	51	246,751	0	9	0.04%	0.00 0.00 0.28
2021年	49	231,997	0	8	0.03%	0.00 0.00 1.75
2022年	49	227,608	0	6	0.03%	0.00 0.00 0.53

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	51	246,751	0	28	0.11%	0.00 0.00 1.78
2021年	49	231,997	0	22	0.09%	0.00 0.00 0.63
2022年	49	227,608	1	23	0.10%	0.00 0.00 1.08

(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

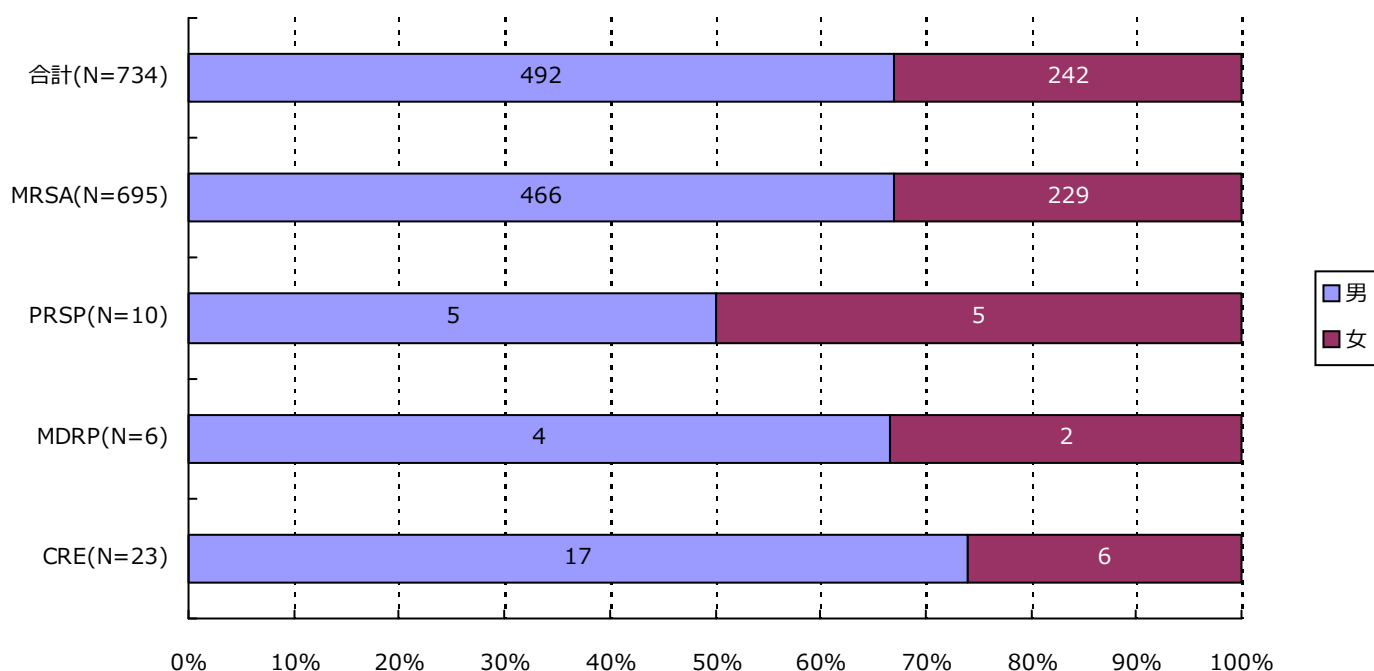
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	492(67.0%)	466(67.1%)	0(-)	0(-)	5(50.0%)	4(66.7%)	0(-)	17(73.9%)
女	242(33.0%)	229(32.9%)	0(-)	0(-)	5(50.0%)	2(33.3%)	0(-)	6(26.1%)
合計	734	695	0	0	10	6	0	23

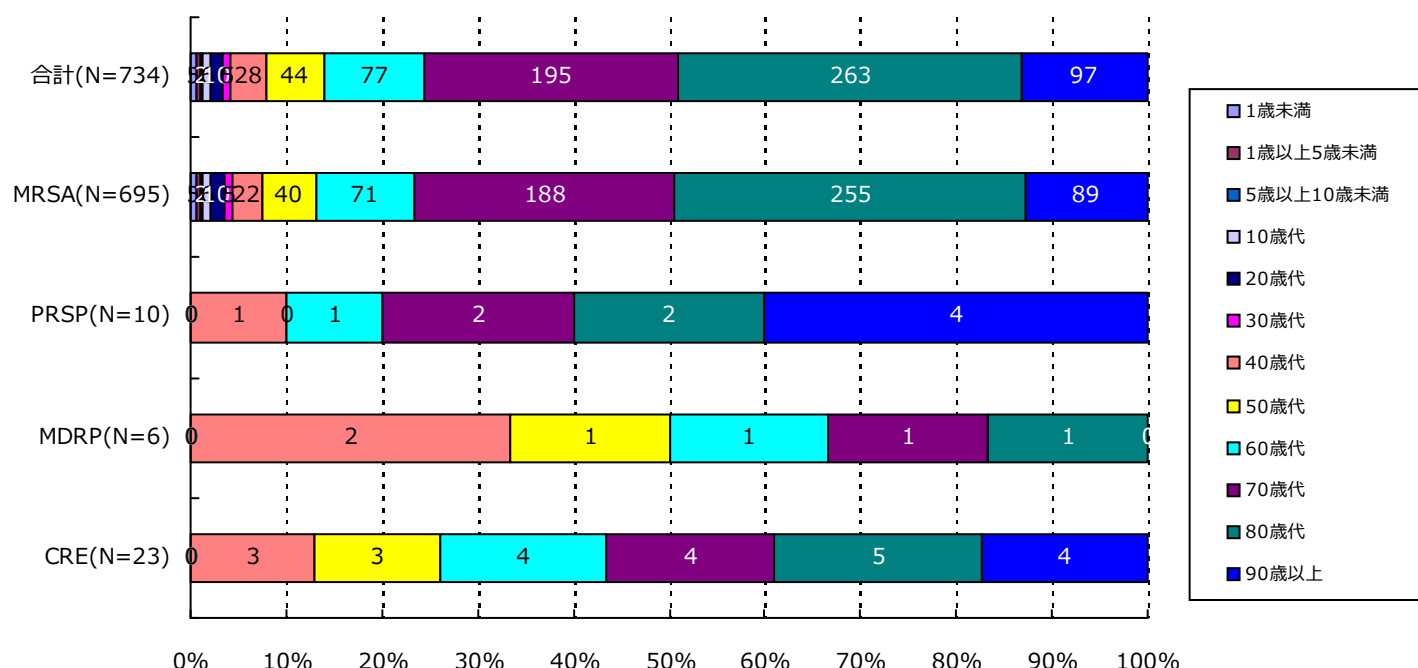
(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

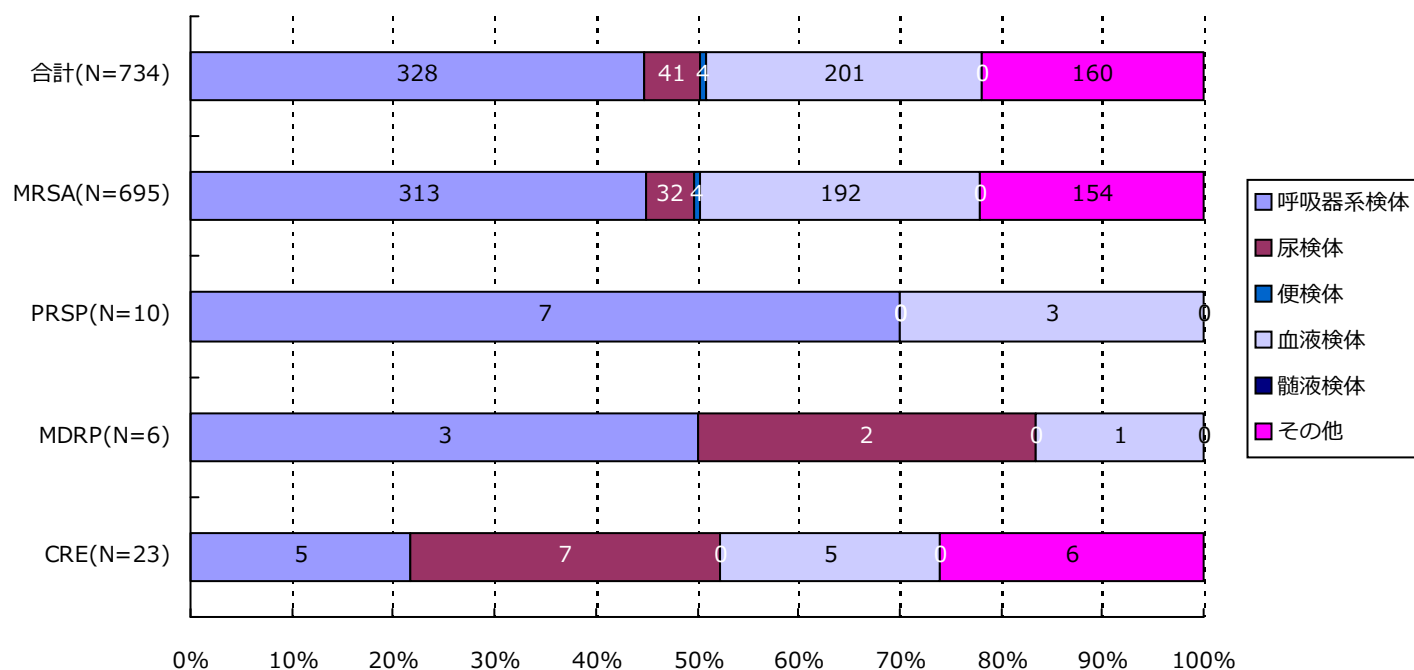


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	5(0.7%)	5(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(0.3%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(0.3%)	2(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	6(0.8%)	6(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	10(1.4%)	10(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	5(0.7%)	5(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	28(3.8%)	22(3.2%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	2(33.3%)	0(-)	3(13.0%)
50歳代	44(6.0%)	40(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	3(13.0%)
60歳代	77(10.5%)	71(10.2%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)	1(16.7%)	0(-)	4(17.4%)
70歳代	195(26.6%)	188(27.1%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)	1(16.7%)	0(-)	4(17.4%)
80歳代	263(35.8%)	255(36.7%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)	1(16.7%)	0(-)	5(21.7%)
90歳以上	97(13.2%)	89(12.8%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)	0(-)	0(-)	4(17.4%)
合計	734	695	0	0	10	6	0	23

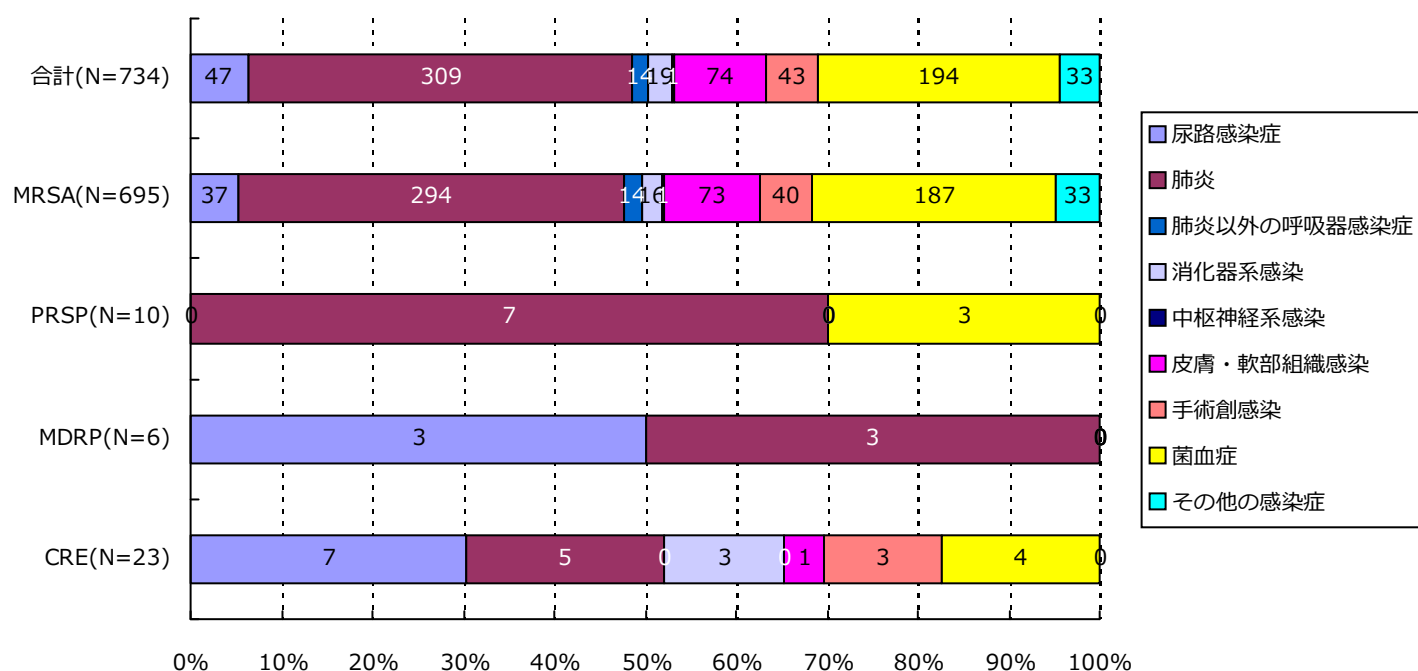
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	328(44.7%)	313(45.0%)	0(-)	0(-)	7(70.0%)	3(50.0%)	0(-)	5(21.7%)
尿検体	41(5.6%)	32(4.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	7(30.4%)
便検体	4(0.5%)	4(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	201(27.4%)	192(27.6%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)	1(16.7%)	0(-)	5(21.7%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	160(21.8%)	154(22.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(26.1%)
合計	734	695	0	0	10	6	0	23

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	47(6.4%)	37(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	7(30.4%)
肺炎	309(42.1%)	294(42.3%)	0(-)	0(-)	7(70.0%)	3(50.0%)	0(-)	5(21.7%)
肺炎以外	14(1.9%)	14(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(2.6%)	16(2.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(13.0%)
中枢神経系	1(0.1%)	1(0.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	74(10.1%)	73(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.3%)
手術創	43(5.9%)	40(5.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(13.0%)
菌血症	194(26.4%)	187(26.9%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)	0(-)	0(-)	4(17.4%)
その他	33(4.5%)	33(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	734	695	0	0	10	6	0	23

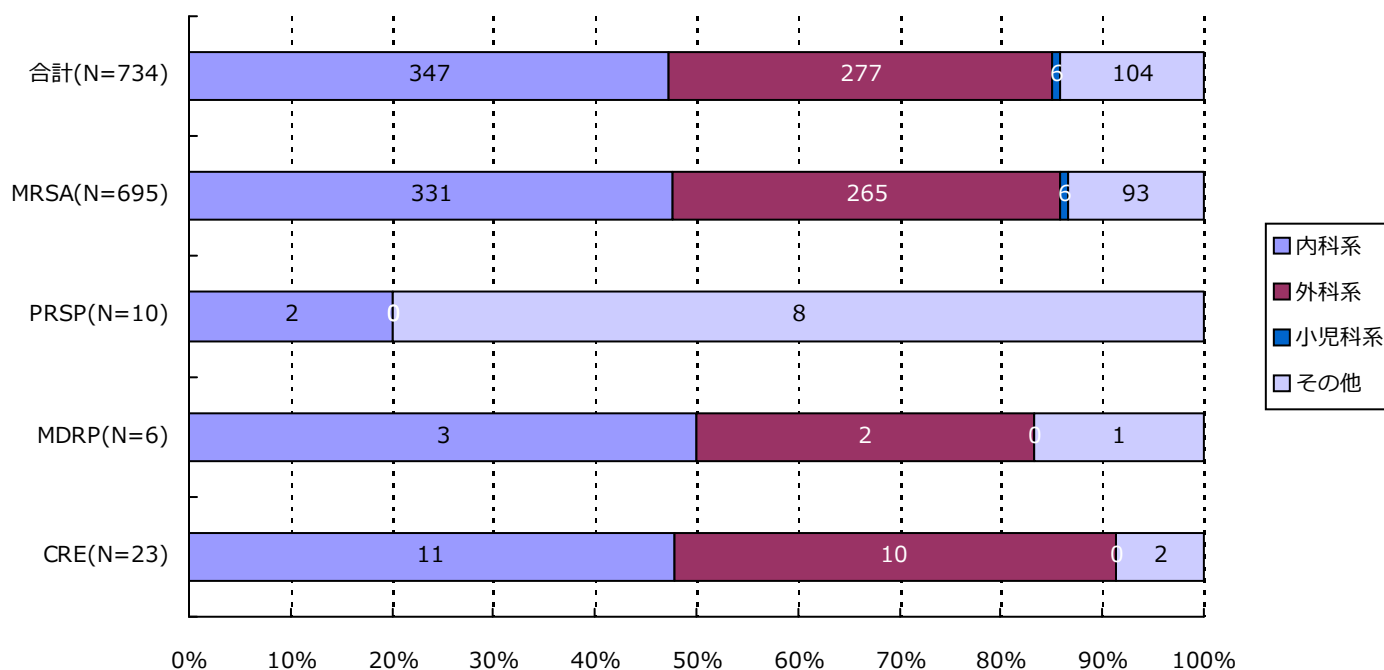
(兵庫県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	347(47.3%)	331(47.6%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)	3(50.0%)	0(-)	11(47.8%)
外科系	277(37.7%)	265(38.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	10(43.5%)
小児科系	6(0.8%)	6(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	104(14.2%)	93(13.4%)	0(-)	0(-)	8(80.0%)	1(16.7%)	0(-)	2(8.7%)
合計	734	695	0	0	10	6	0	23

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科	
	循環器内科		消化器外科	
	神経内科		肛門科	
	呼吸器内科		肝胆脾外科	
	消化器内科		心臓血管外科	
	胃腸科		内分泌外科	
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科	
	腎臓内科		小児外科	
	糖尿病内科		小児循環器外科	
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科	
	膠原病内科		産婦人科	
	アレルギー内科		産科	
	リウマチ内科		婦人科	
	血液内科		整形外科	
	感染症内科		美容外科	
	老人内科		眼科	
	心療内科		耳鼻咽喉科	
	その他		性病科	外科系
神経科		泌尿器科		
精神科		皮膚・泌尿器科		
放射線科		皮膚科		
総合診療部		脳神経外科		
救急部		形成外科		
救急・集中治療部		歯科口腔外科		
集中治療部(ICU)		歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科		
内視鏡科		矯正歯科		
透析科		口腔外科		
理学療法・リハビリテーション科		手術部		
理学療法科		移植・人工臓器科		
リハビリテーション科		小児科系	小児科	
麻酔科			新生児科	
その他			新生児集中治療部(NICU)	
			周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

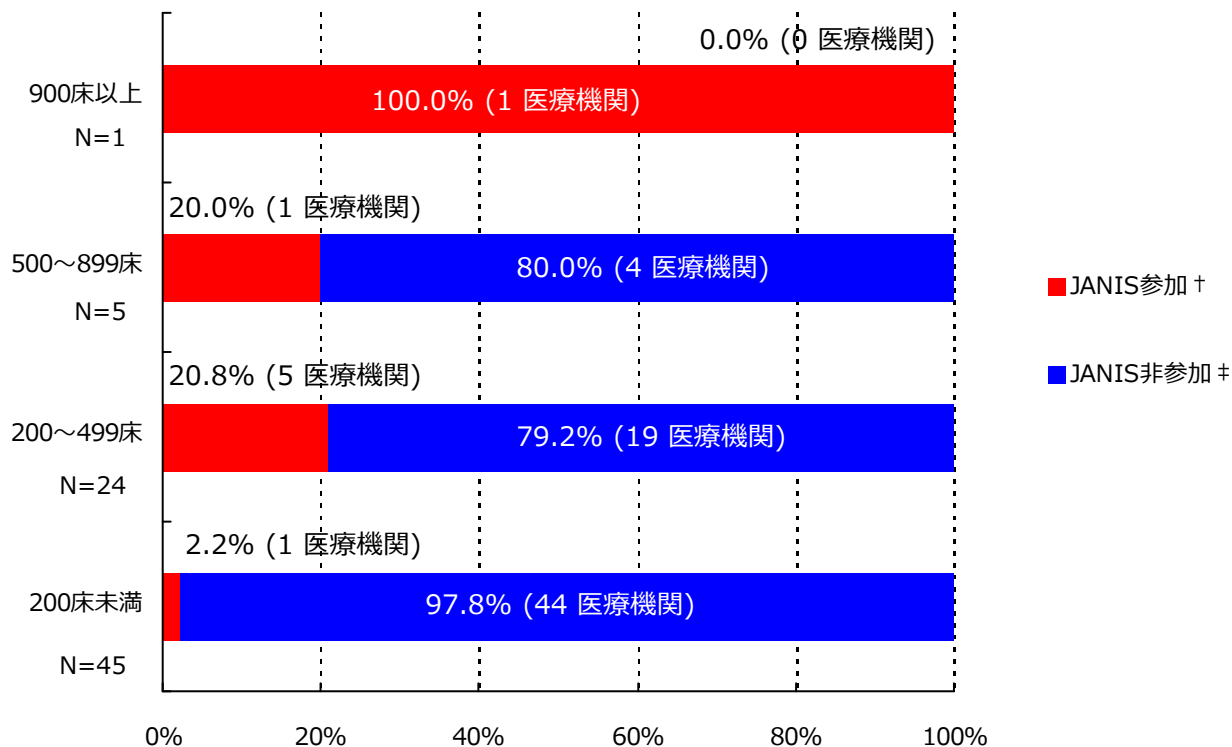
(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 (100%)
500～899床	5	1 (20%)
200～499床	24	5 (20.8%)
200床未満	45	1 (2.2%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	75	8 (10.7%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	58,003	1	198	3.41%	0.00 2.95 5.98 -----
2021年	8	57,879	1	211	3.65%	0.00 2.59 9.09 -----
2022年	8	57,759	3	152	2.63%	0.00 2.17 4.91 -----

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	8	58,003	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.06 -----
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	8	57,759	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.08 -----

(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	8	58,003	0	7	0.12%	0.00 0.00 0.51
2021年	8	57,879	0	7	0.12%	0.00 0.00 0.34
2022年	8	57,759	0	15	0.26%	0.00 0.00 1.09

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	8	58,003	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.06
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	8	57,759	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.25

(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	8	58,003	1	16	0.28%	0.00 0.00 0.51
2021年	8	57,879	1	22	0.38%	0.00 0.00 0.92
2022年	8	57,759	0	13	0.23%	0.00 0.00 0.39

(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

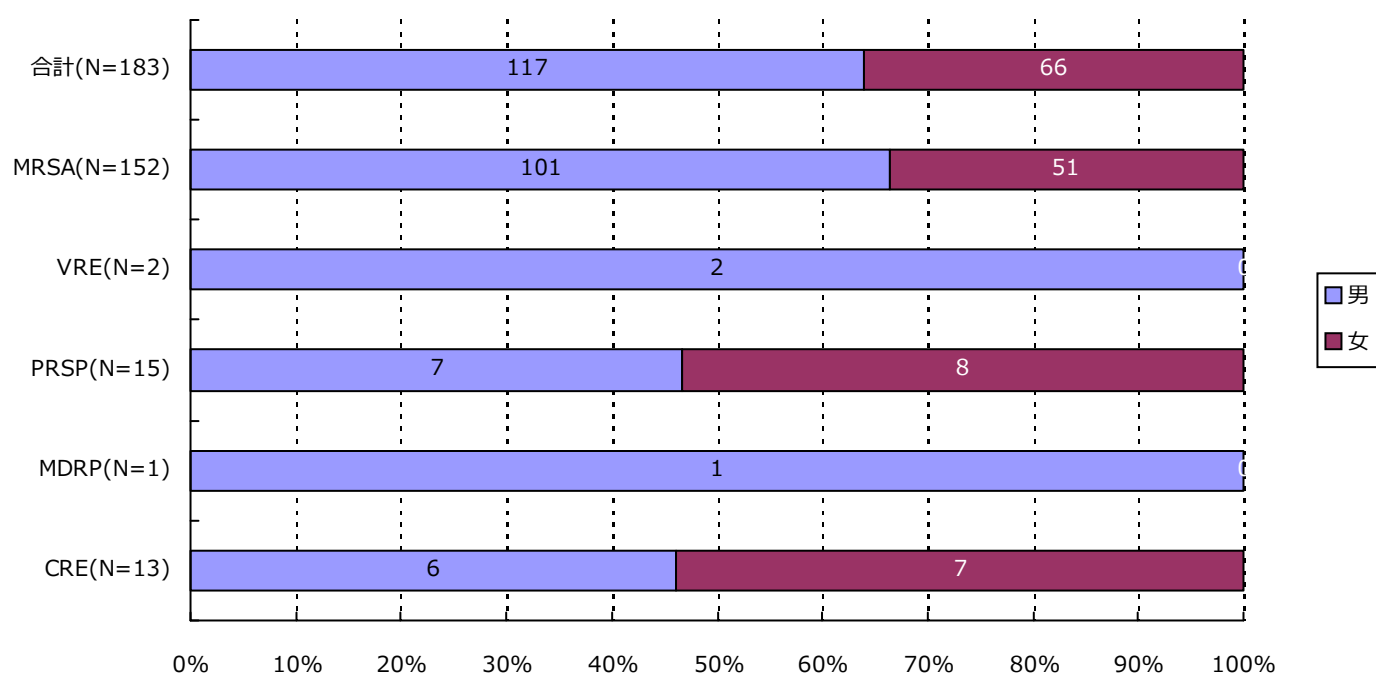
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	117 (63.9%)	101 (66.4%)	0 (-)	2 (100.0%)	7 (46.7%)	1 (100.0%)	0 (-)	6 (46.2%)
女	66 (36.1%)	51 (33.6%)	0 (-)	0 (-)	8 (53.3%)	0 (-)	0 (-)	7 (53.8%)
合計	183	152	0	2	15	1	0	13

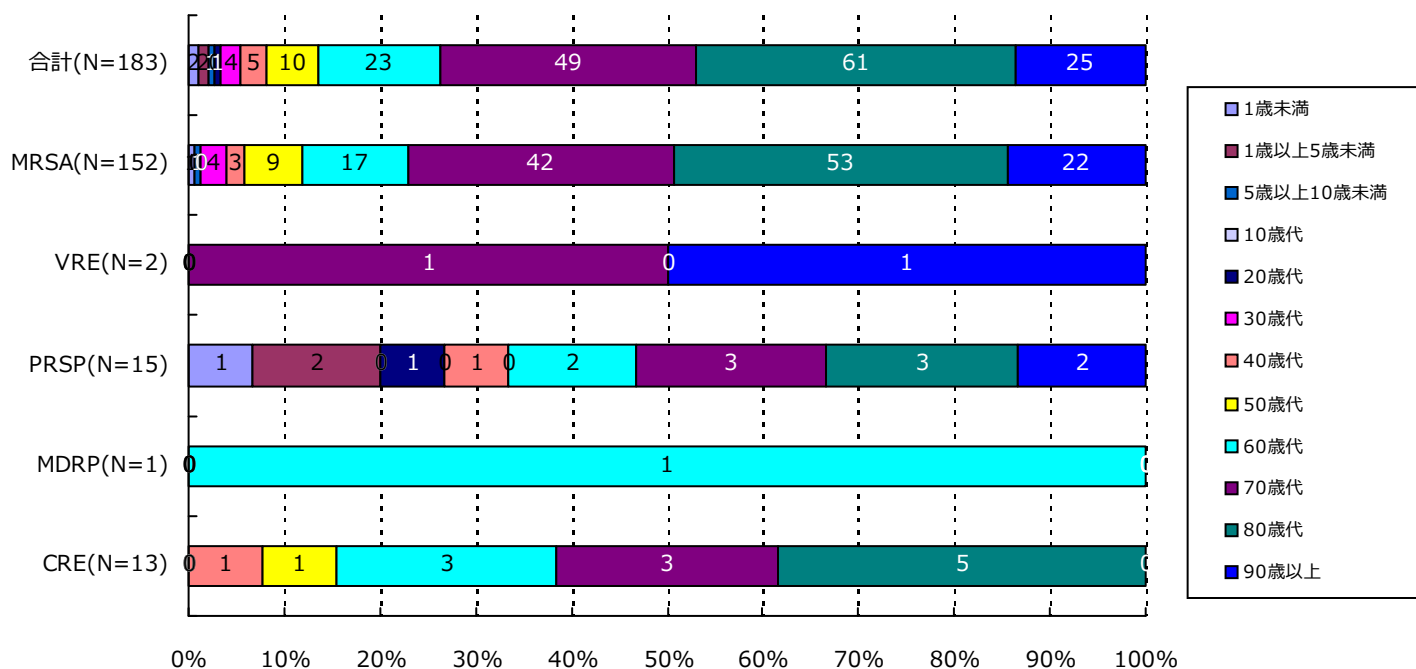
(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

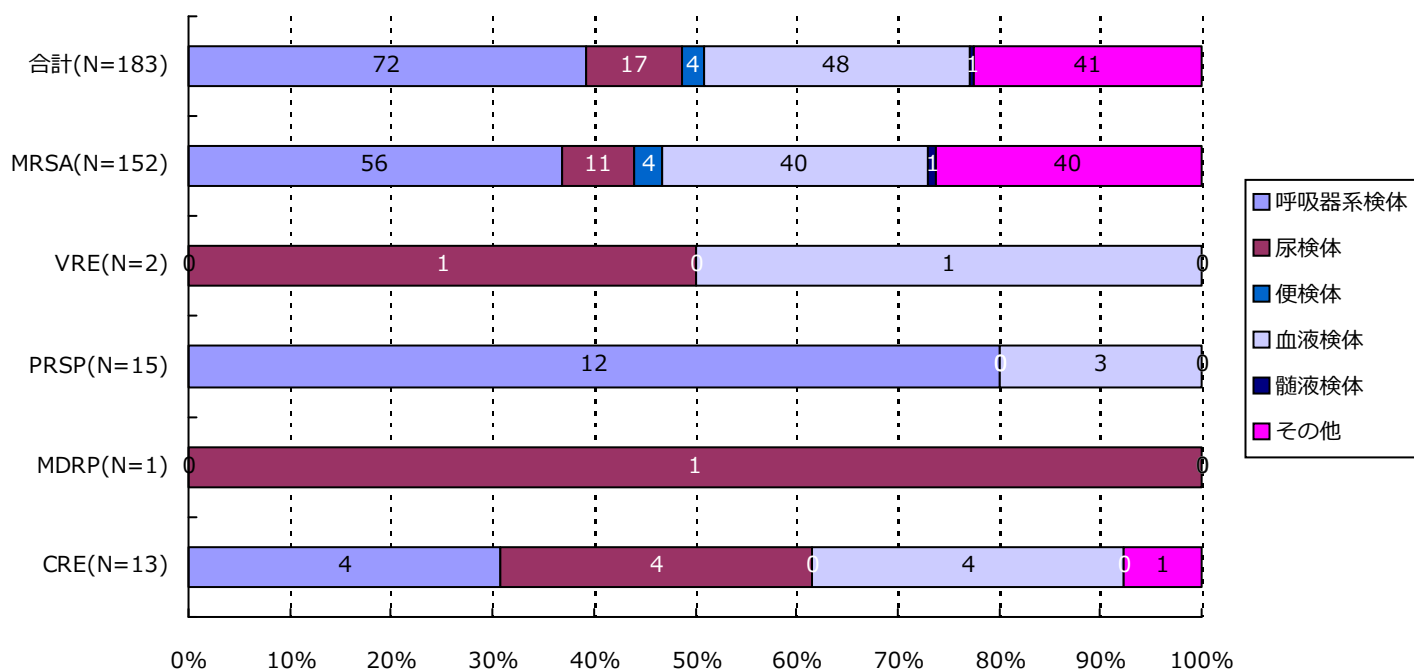


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.1%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.5%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(2.2%)	4(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(2.7%)	3(2.0%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
50歳代	10(5.5%)	9(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
60歳代	23(12.6%)	17(11.2%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	1(100.0%)	0(-)	3(23.1%)
70歳代	49(26.8%)	42(27.6%)	0(-)	1(50.0%)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	3(23.1%)
80歳代	61(33.3%)	53(34.9%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	5(38.5%)
90歳以上	25(13.7%)	22(14.5%)	0(-)	1(50.0%)	2(13.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	183	152	0	2	15	1	0	13

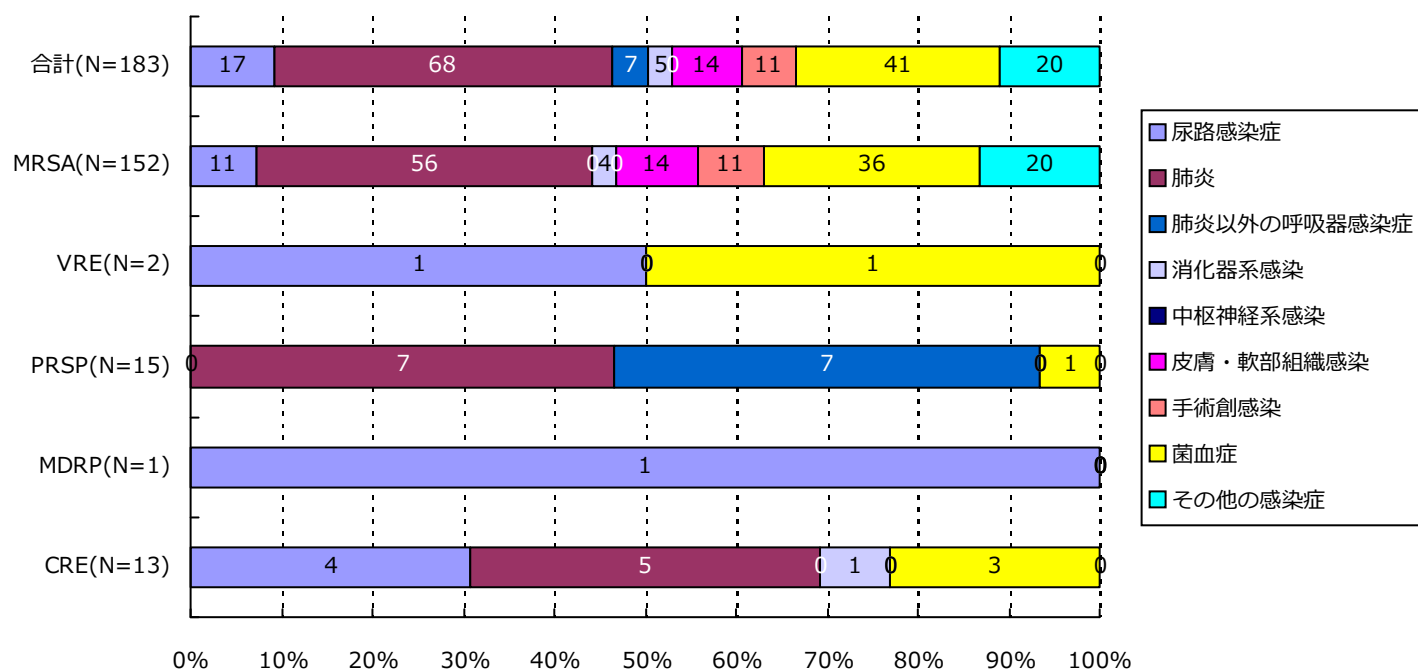
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	72(39.3%)	56(36.8%)	0(-)	0(-)	12(80.0%)	0(-)	0(-)	4(30.8%)
尿検体	17(9.3%)	11(7.2%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	4(30.8%)
便検体	4(2.2%)	4(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	48(26.2%)	40(26.3%)	0(-)	1(50.0%)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	4(30.8%)
髄液検体	1(0.5%)	1(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	41(22.4%)	40(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
合計	183	152	0	2	15	1	0	13

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	17(9.3%)	11(7.2%)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	4(30.8%)
肺炎	68(37.2%)	56(36.8%)	0(-)	0(-)	7(46.7%)	0(-)	0(-)	5(38.5%)
肺炎以外	7(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	7(46.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.7%)	4(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.7%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	14(7.7%)	14(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	11(6.0%)	11(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	41(22.4%)	36(23.7%)	0(-)	1(50.0%)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	3(23.1%)
その他	20(10.9%)	20(13.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	183	152	0	2	15	1	0	13

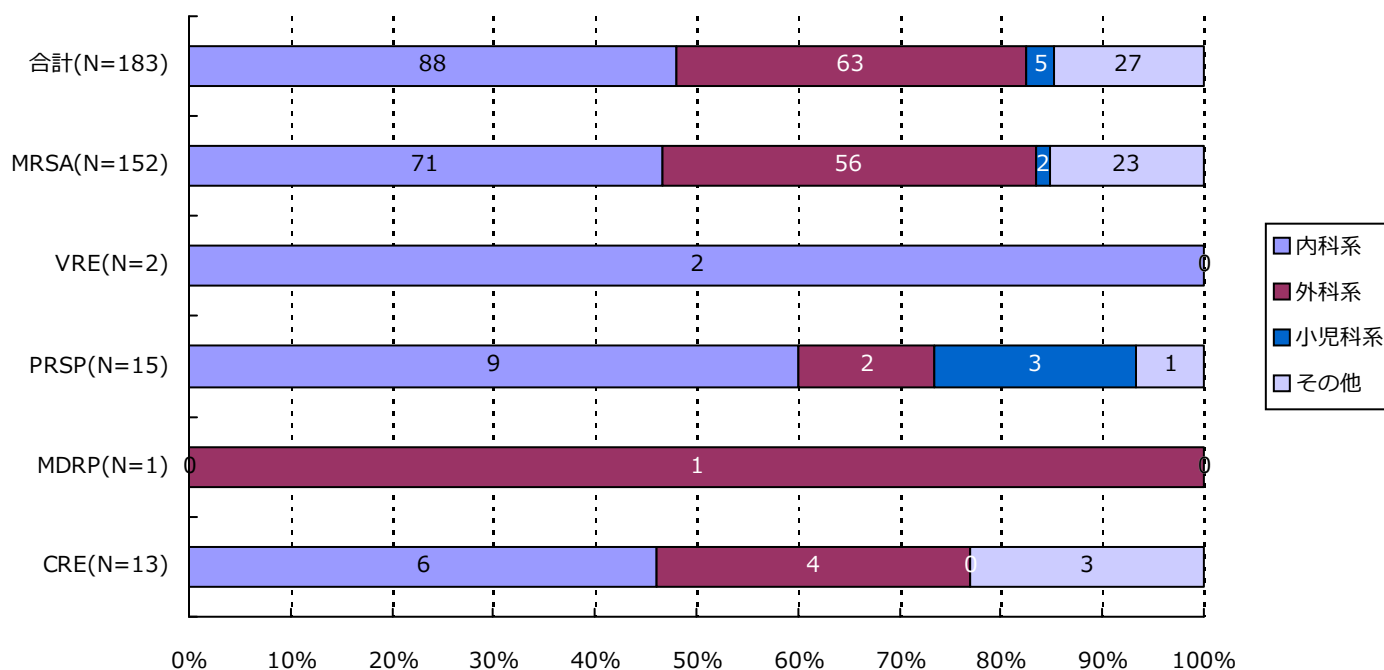
(奈良県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	88(48.1%)	71(46.7%)	0(-)	2(100.0%)	9(60.0%)	0(-)	0(-)	6(46.2%)
外科系	63(34.4%)	56(36.8%)	0(-)	0(-)	2(13.3%)	1(100.0%)	0(-)	4(30.8%)
小児科系	5(2.7%)	2(1.3%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	27(14.8%)	23(15.1%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	3(23.1%)
合計	183	152	0	2	15	1	0	13

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆膵外科
	消化器内科		心血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
その他	性病科	小児科系	気管食道科
	神経科		泌尿器科
	精神科		皮膚・泌尿器科
	放射線科		皮膚科
	総合診療部		脳神経外科
	救急部		形成外科
	救急・集中治療部		歯科口腔外科
	集中治療部(ICU)		歯科
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科
	内視鏡科		矯正歯科
	透析科		口腔外科
	理学療法・リハビリテーション科		手術部
	理学療法科		移植・人工臓器科
	リハビリテーション科		小児科
	麻酔科		新生児科
	その他		新生児集中治療部(NICU)
			周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

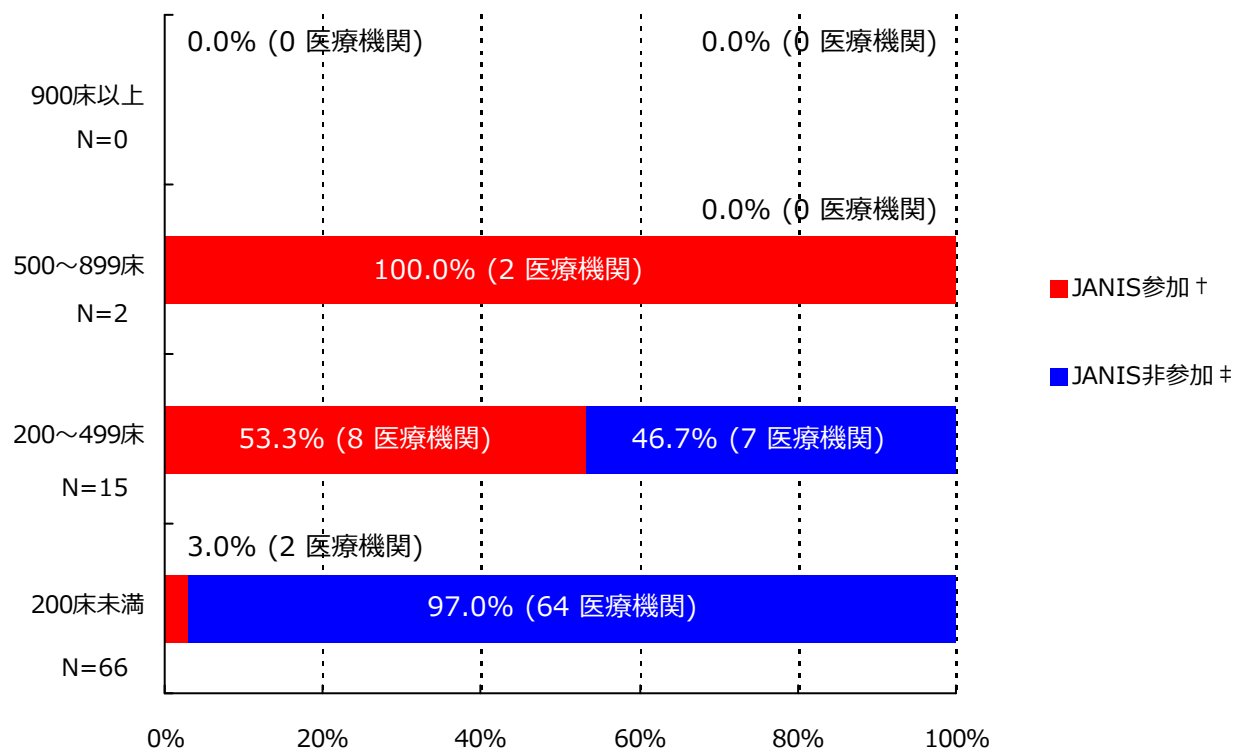
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠

(和歌山県)
公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(12医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2022年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2021年 都道府県別医療機関数¶) - (2022年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2021年 都道府県別医療機関数¶	2022年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	2 (100%)
200～499床	15	8 (53.3%)
200床未満	66	2 (3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	83	12 (14.5%)

¶2021年医療施設（動態）調査を参照した。

(和歌山県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	13	83,932	2	262	3.12%	0.79 2.59 13.82 -----
2021年	12	79,073	3	263	3.33%	1.66 2.56 9.20 -----
2022年	12	78,059	4	240	3.07%	1.11 2.99 12.04 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	12	79,073	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.17 -----
2022年	12	78,059	0	3	0.04%	0.00 0.00 0.35 -----

(和歌山県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2021年	12	79,073	0	4	0.05%	0.00 0.00 0.22
2022年	12	78,059	2	1	0.01%	0.00 0.00 0.17

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2020年	13	83,932	0	3	0.04%	0.00 0.00 0.24
2021年	12	79,073	0	4	0.05%	0.00 0.00 0.63
2022年	12	78,059	0	3	0.04%	0.00 0.00 0.30

(和歌山県)

公開情報 2022年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

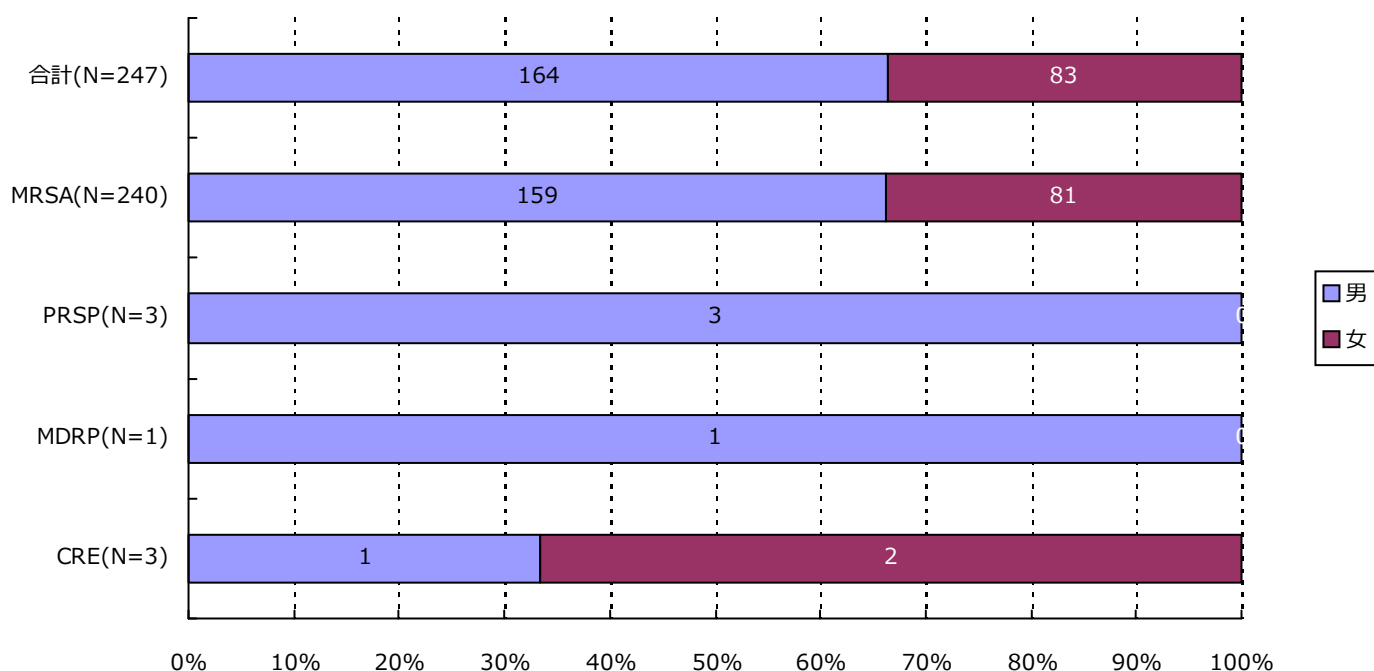
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

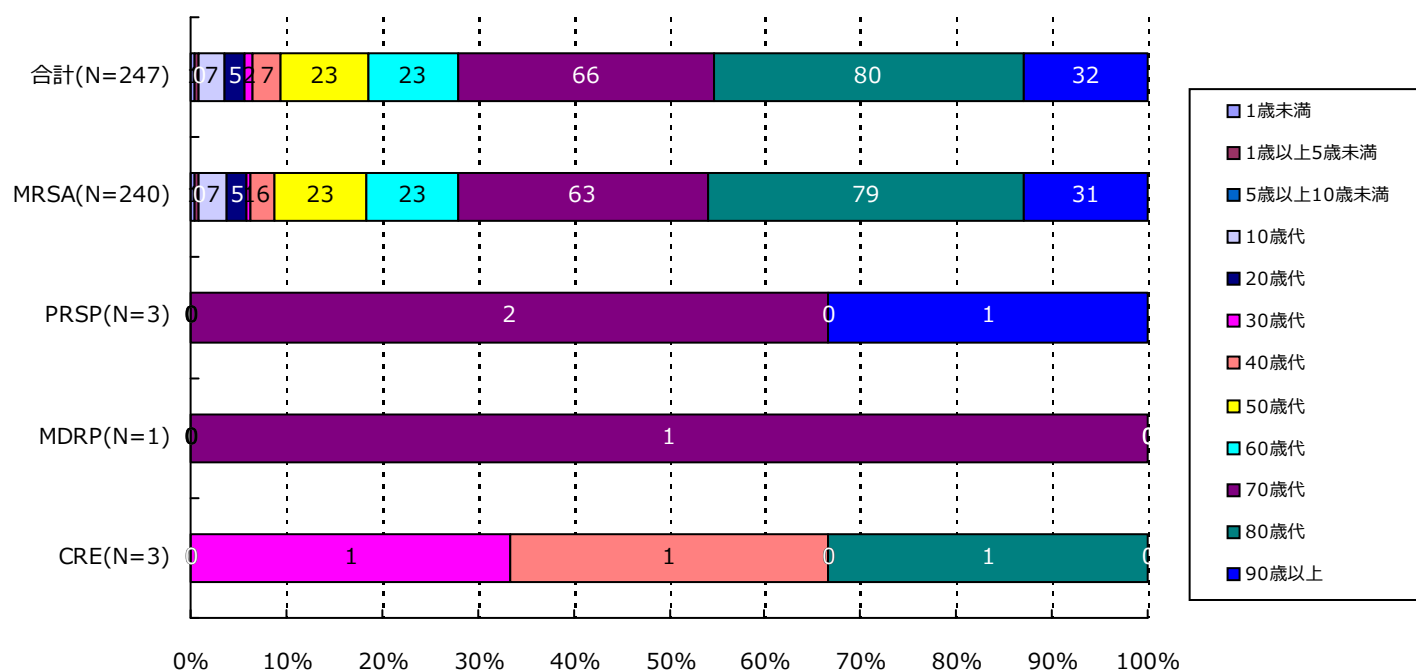
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



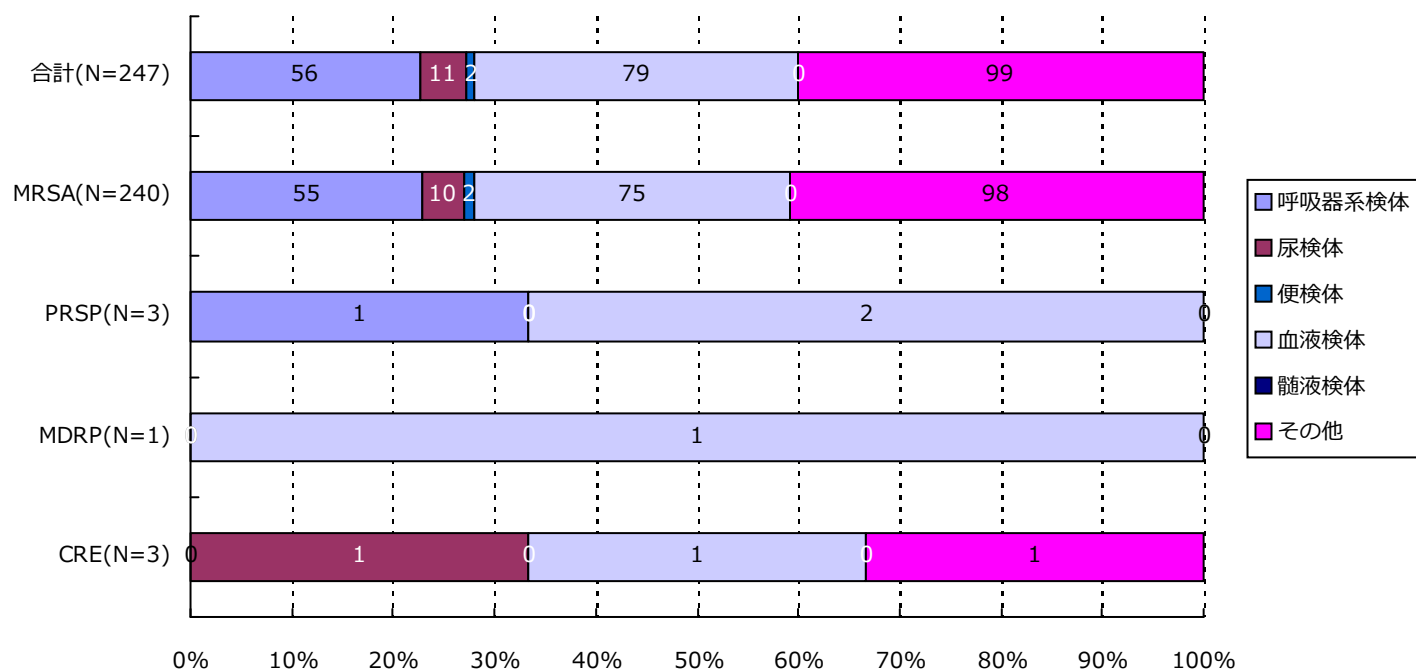
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	164 (66.4%)	159 (66.3%)	0 (-)	0 (-)	3 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	1 (33.3%)
女	83 (33.6%)	81 (33.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7%)
合計	247	240	0	0	3	1	0	3

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	7(2.8%)	7(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.8%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
40歳代	7(2.8%)	6(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
50歳代	23(9.3%)	23(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	23(9.3%)	23(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	66(26.7%)	63(26.3%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
80歳代	80(32.4%)	79(32.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
90歳以上	32(13.0%)	31(12.9%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	247	240	0	0	3	1	0	3

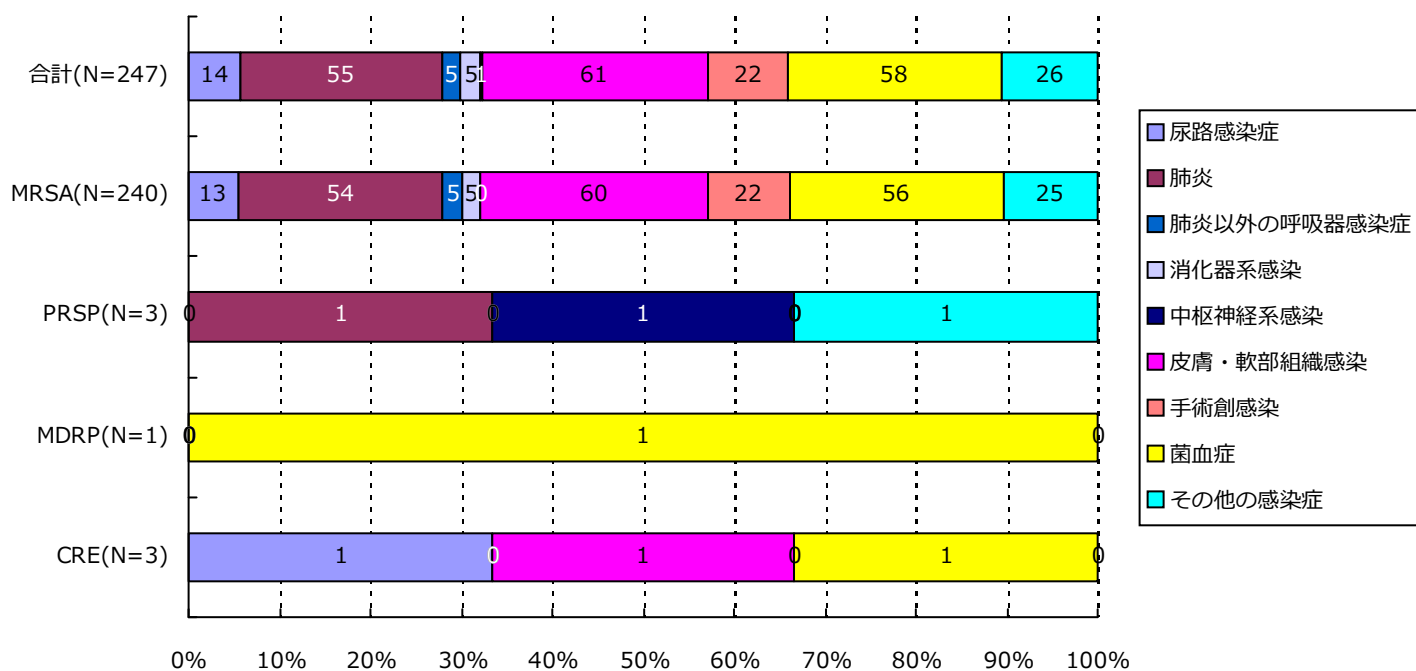
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	56(22.7%)	55(22.9%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	11(4.5%)	10(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
便検体	2(0.8%)	2(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	79(32.0%)	75(31.3%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	1(100.0%)	0(-)	1(33.3%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	99(40.1%)	98(40.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
合計	247	240	0	0	3	1	0	3

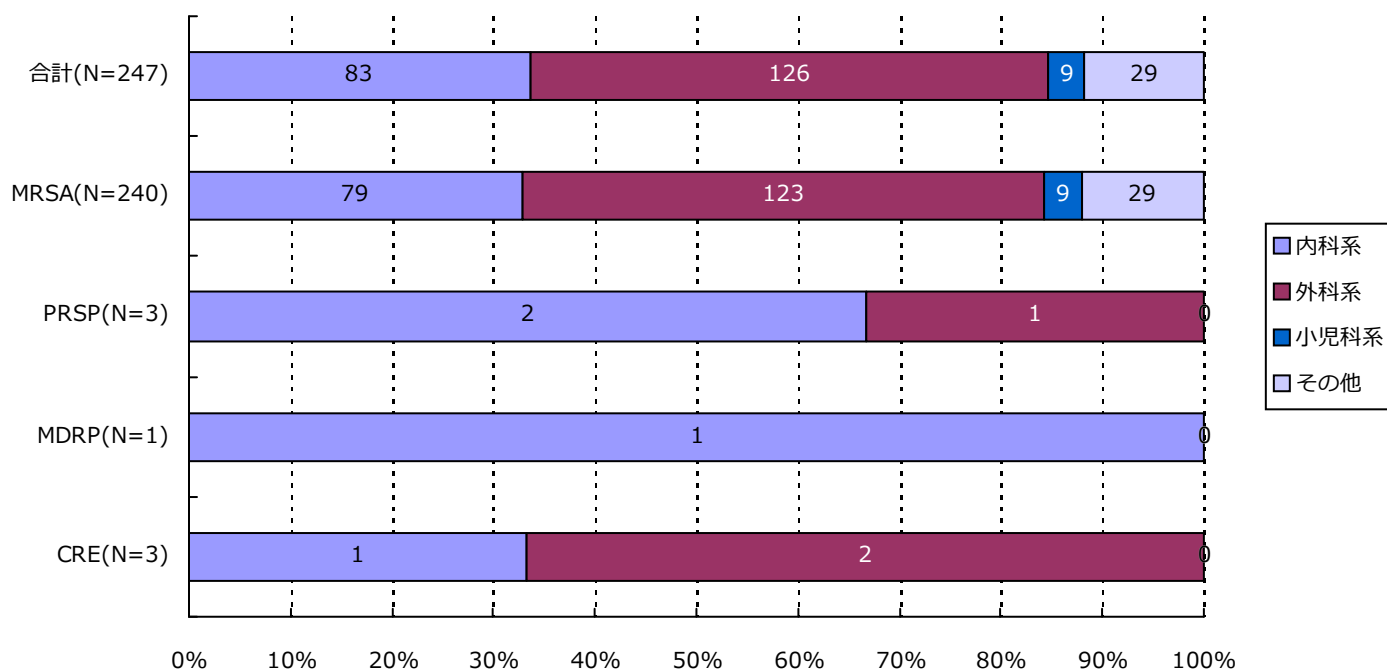
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	14(5.7%)	13(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
肺炎	55(22.3%)	54(22.5%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(2.0%)	5(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	61(24.7%)	60(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
手術創	22(8.9%)	22(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	58(23.5%)	56(23.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(33.3%)
その他	26(10.5%)	25(10.4%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	247	240	0	0	3	1	0	3

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	83(33.6%)	79(32.9%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	1(100.0%)	0(-)	1(33.3%)
外科系	126(51.0%)	123(51.3%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
小児科系	9(3.6%)	9(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	29(11.7%)	29(12.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	247	240	0	0	3	1	0	3

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.2)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生动向調査の基準に準拠